

平成30年

鹿児島県の観光の動向 ～鹿児島県観光統計～



令和元年11月



鹿児島県PR・観光戦略部観光課

目 次

「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の見方	P 3
---------------------------	-----

■ 平成 30 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(概要)

1 延べ宿泊者数・延べ日帰り客数	P 1 0
2 外国人延べ宿泊者数	P 1 0
3 観光消費額	P 1 1

■ 平成 30 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(詳細)

1 宿泊者数	
(1) 月別延べ宿泊者数	P 1 6
(2) 発地別県外延べ宿泊者数	P 1 7
(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数	P 1 8
(4) 外国人延べ宿泊者数	P 1 9
2 地区別の動向	
(1) 地区別延べ宿泊者数	P 2 1
(2) 地区別延べ日帰り客数	P 3 1
(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数	P 3 2
(4) 地区別外国人延べ宿泊者数	P 3 3

■ 参考資料

1 全国における宿泊者の動向	
(1) 月別延べ宿泊者数(平成 30 年)	P 3 6
(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 30 年)	P 3 6
(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 30 年)	P 3 6
2 九州における宿泊者の動向	
(1) 九州各県別延べ宿泊者数	P 3 7
(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数	P 3 8
3 鹿児島県観光動向調査(サンプル調査)	
(1) 月別の宿泊客数	P 3 9
(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数	P 3 9
(3) 旅行形態別延べ宿泊客数	P 4 0
(4) 月別旅行形態の動向	P 4 1
4 教育旅行の受入状況	
(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況(推移)	P 4 2
(2) 月別の教育旅行の受入状況(平成 29 年～30 年)	P 4 2
(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況(平成 29 年～30 年)	P 4 3
(4) 学校種別の構成比(平成 30 年)	P 4 3
5 スポーツ合宿の受入状況	
(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況(推移)	P 4 4
(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況(平成 29 年度～30 年度)	P 4 4
(3) 団体区分(カテゴリー)の状況	P 4 5
(4) 発地別の状況	P 4 5
(5) 交通手段の状況	P 4 6
(6) 競技種目の状況	P 4 6

6	コンベンションの開催状況	P 4 7
7	国際観光船受入状況	
(1)	全国におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 8
(2)	鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 9

鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～の見方

この「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」は、平成30年（1月～12月）1年間の宿泊者（延べ宿泊者数）、日帰り客（延べ日帰り客数）及び外国人宿泊者（外国人延べ宿泊者数）の動向等について、「宿泊旅行統計」（観光庁）※注1、「観光入込客統計」（観光庁）※注2、「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）※注3の統計結果や、県内各市町村、関係機関等の御協力を得て実施した観光地点入込状況、交通機関利用状況等の調査をとりまとめたものである。

※ 注1「宿泊旅行統計」（観光庁）

（1）調査の目的

宿泊旅行統計調査は、我が国の宿泊旅行の実態を全国規模で把握することを目的とする。

（2）調査の対象

日本国内において宿泊業を営む、ホテル、旅館、簡易宿所、会社、団体の宿泊所などの全宿泊施設である。

なお、事業所母集団データベース（総務省）をもとに観光庁で補正を加えた母集団名簿により調査を行った。

【鹿児島県内の対象施設数】※平成30年12月時点

鹿児島県内の対象施設数	1,374施設
従業員数10人以上の宿泊施設数	222施設
従業員数9人以下の宿泊施設数	1,152施設

（3）調査の時期

四半期毎

（4）抽出方法

調査対象施設の抽出については以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所 : 全数調査
- 従業者数5人～9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出するサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出するサンプル調査

（5）主な調査事項

- 各月の延べ・実宿泊者数及び外国人延べ・実宿泊者数
- 各月の延べ宿泊者数の居住地別内訳（県内、県外の別）
- 各月の外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳

（6）調査の方法

調査は、観光庁から調査対象施設へ調査票を配布し、報告者（調査対象施設）が自ら調査票に記入し返送する方法で実施した。

また、調査の実施、審査・集計等については民間に委託して実施した。

(7) 結果の推定方法

調査の未回収分については、調査結果に施設所在地（47 区分）×従業者数（5 区分）の層ごとに母集団施設数に対する回収施設の逆数（母集団施設／回収施設数）を乗じて合算した。

なお、平成 30 年の調査を通じて 1 年間、標本の総和が 1,000 人泊（人）以上になる結果表セルにおいて 50%以上のシェアを占める標本については、別途層を設け、乗率 $Nh/nh=1$ とした。

以上より、統計の推定値は次の式で表される。

$$G = \sum_h \frac{N_h}{n_h} \sum_i x_{hi}$$

G : 総計（延べ宿泊者数等）の推定値

x_{hi} : 第 h 層の第 i 番目の施設の調査結果（延べ宿泊者数等）

n_h : 第 h 層の標本（回収）施設数

N_h : 第 h 層の母集団施設数

また、各月ごとの調査結果を、平成 30 年 1 月 1 日時点で把握した平成 29 年中の調査対象施設の開業、廃業等施設数を反映させ、各月毎の調査対象施設数により、遡及して推計し直した。

(8) 用語の解説

「宿泊施設」

旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設をいう。

「従業者数」

従業者とは、当該宿泊施設で働いているすべての人をいう（実人員数）。派遣労働者、在籍出向など出向元に籍がありながら当該施設に来て働いている人、下請けとして他の会社など別経営の事業所から来て働いている人を含む。なお、宿泊施設以外の施設（遊園地、ゴルフ場、スキー場、プール等）を併設している場合で、会計上も宿泊施設営業と他の事業に分けている場合は宿泊施設営業に従事している人のみとした。

「延べ宿泊者数」

延べ宿泊者数とは、各月における宿泊者（寝具を使用して施設を利用するもの。子供や乳児を含む。）の延べ人数をいう。

「外国人延べ宿泊者数」

外国人延べ宿泊者数とは、各月における外国人（日本国内に住所を有しないもの）の宿泊者の延べ人数をいう。ただし、日本国内の住所の有無による回答が困難な施設は、日本の国籍を有しないものを外国人宿泊者として回答しても差し支えないこととした。

※ 注 2 「観光入込客統計」（観光庁）

（１）調査の目的

観光庁では、地域間で観光に関する現状や動向を全国的に比較できるようにしつつ、観光振興に資するため、平成 21 年 12 月に観光入込客に関する統一的な把握のための「共通基準」を策定した。

本県では、平成 22 年 4 月から当該基準を導入した調査を実施し、結果を観光庁に報告している。

（２）調査の時期

四半期毎

（３）調査体系

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査（全数調査）

県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査する。

②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査する。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

（４）集計・公表する項目

- 観光地点を訪れた観光入込客数
- 観光地点を訪れた観光入込客一人当たりの平均消費額
- 観光地点を訪れた観光入込客の総消費額

（５）用語の解説

「観光地点」

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設等を意味し、次に掲げる要件を全て満たすものを集計の対象としている。

- ① 非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が 5 千人以上であること。

「観光入込客」

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。本基準では観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客としている。

※ 注3「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）

（1）調査の目的

本県では最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、一般の各観光関係者のビジネスや効果的な事業展開等広く民間の活用に資するため、平成19年4月から県内の主要宿泊施設、観光施設等を対象として、宿泊の入込状況についてアンケート調査を実施している。

（2）調査の時期

毎月

（3）調査の対象

- ① ホテル・旅館 77 施設
- ② 観光施設 20 施設
- ③ ドライブイン 5 施設

※平成30年12月時点回答施設数

（4）調査方法及び留意事項

毎月、対象施設に調査票を送付し、調査結果を取りまとめている。
調査対象施設については、新たに建設されたものなどを追加している。

（5）主な調査事項

〈宿泊施設〉

- 延べ宿泊客数（全宿泊客数、外国人宿泊客数）
- 宿泊形態（団体、個人旅行の別）
- 発地別宿泊客数 等

〈観光施設・ドライブイン〉

- 入場者、来場者数 等

（6）「発地別県外延べ宿泊者数」の発地区分内訳

地区	該当都道府県等			
北海道	北海道			
東北	青森 秋田	岩手 山形	宮城	福島
関東	茨城 千葉	栃木 東京	群馬 神奈川	埼玉 山梨
北陸	新潟	福井	富山	石川
中部	静岡	愛知	岐阜	長野
関西	滋賀 兵庫	京都 三重	大阪 和歌山	奈良
中国	鳥取 山口	島根	岡山	広島
四国	徳島	香川	愛媛	高知
九州	福岡 大分	佐賀 宮崎	長崎	熊本
沖縄	沖縄			
国外	日本以外の全ての国			

1 地区別延べ宿泊者数の推定の方法

地区別の宿泊者数については、県が観光庁から宿泊旅行統計調査の調査票情報（鹿児島県内の宿泊施設分）の提供を受け、施設所在地区別に推定を行った。

「地区別延べ宿泊者数」等の施設所在地区別の内訳

地区名	該当市町村			
鹿児島地区	鹿児島市			
指宿地区	指宿市			
霧島地区	霧島市			
北薩地区	阿久根市 長島町	薩摩川内市	出水市	さつま町
大隅地区	鹿屋市 大崎町 肝付町	垂水市 東串良町	曾於市 錦江町	志布志市 南大隅町
種子島地区	西之表市	中種子町	南種子町	
屋久島地区	屋久島町			
奄美地区	奄美市 龍郷町 伊仙町	大和村 喜界町 和泊町	宇検村 徳之島町 知名町	瀬戸内町 天城町 与論町
その他地区	枕崎市 南九州市 三島村	日置市 伊佐市 十島村	いちき串木野市 始良市	南さつま市 湧水町

2 地区別延べ日帰り客数の推定の方法

地区別の日帰り客数については、県が観光庁に報告する調査票情報を用いて施設所在地区別に推定を行った。

※施設所在地区別の内訳については上表と同じ

3 日帰り客の延べ人数の推定の方法

日帰り客数について観光庁は、観光地点を訪れた観光入込客数（延べ人数）を平均訪問地点数で割った、観光入込客数（実人数）で公表しているが、本統計においては、平均訪問地点数で割る前の延べ人数を用いた。

※「延べ人数」と「実人数」の違い

「実人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回分と数えることとなる。

「延べ人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の3つの観光地点を訪れたとしたら、3回分と数えることとなる。

4 発地別県外延べ宿泊者数について

発地別県外延べ宿泊者数については、「鹿児島県観光動向調査」のデータを用いた。

5 交通機関別県外延べ宿泊者数について

観光庁「宿泊旅行統計」の県外延べ宿泊者数をベースとして、鉄道、バス、航空、船舶事業者及び高速道路事業者の協力により得られたデータをもとに、県が交通機関別に推定を行った。

平成 30 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(概要)

平成30年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の概要

- ・「延べ宿泊者数」は8,864千人で、前年比11.0%の増加
- ・「延べ日帰り客数」は13,819千人で、前年比0.3%の増加
- ・「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計は22,683千人で、前年比4.2%の増加
- ・「外国人延べ宿泊者数」は830,540人で、前年比11.6%の増加
- ・「観光消費額」は3,016億円で、前年比6.1%の増加

1 延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】・延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 平成30年の鹿児島県内の宿泊施設の延べ宿泊者数は8,864,320人で、前年比11.0%の増加となった。

また、平成30年の鹿児島県内の観光地点における観光目的の延べ日帰り客数は13,819,000人で、前年比0.3%の増加となった。

	平成30年		平成29年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数 (1～12月分)	8,864,320		7,986,670		11.0%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	6,433,550	2,210,030	5,766,410	2,021,800	11.6%	9.3%
延べ日帰り客数 (1～12月分)	13,819,000		13,782,000		0.3%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	3,114,000	10,653,000	3,148,000	10,623,000	-1.1%	0.3%
合計	22,683,320		21,768,670		4.2%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	9,547,550	12,863,030	8,914,410	12,644,800	7.1%	1.7%

※居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

2 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

■ 平成30年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は830,540人であり、前年比11.6%の増加となった。

外国人延べ宿泊者数		前年比 (増減率)
平成30年	830,540	11.6%
(平成29年)	744,180	

※ 全宿泊施設が調査対象

韓国：イースター航空の増便等により増加。

台湾：チャイナエアラインの増便等により増加。

中国：個人旅行需要が旺盛であり増加。

香港：香港航空や香港エクスプレスの増便等により増加。

国籍別外国人延べ宿泊者数(構成比)			前年比 (増減率)
韓国	173,050 (24.9%)		115.3%
台湾	131,960 (19.0%)		5.2%
中国	89,120 (12.8%)		2.6%
香港	206,490 (29.7%)		7.2%
米国	12,900 (1.9%)		18.6%
シンガポール	8,780 (1.3%)		5.0%
タイ	4,050 (0.6%)		-18.5%
その他	68,590 (9.9%)		4.7%
合計	694,940		20.9%
(平成29年)	(575,030)		

※ 従業者数10人以上の施設が調査対象

※ その他には国籍(出身地)不詳を含む

3 観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 鹿児島県への観光入込客の観光消費額は 301,601 百万円で、6.1%の増加となった。

(百万円)

		平成30年		平成29年		前年比(増減率)	
日本人	宿泊	201,409		187,752		7.3%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		158,535	42,874	152,495	35,257	4.0%	21.6%
	日帰り	58,706		56,153		4.5%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
20,808		37,898	22,016	34,137	-5.5%	11.0%	
訪日外国人		41,486		40,338		2.8%	
合計		301,601		284,243		6.1%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
		220,829	80,772	214,849	69,394	2.8%	16.4%

【参考 観光消費額単価】

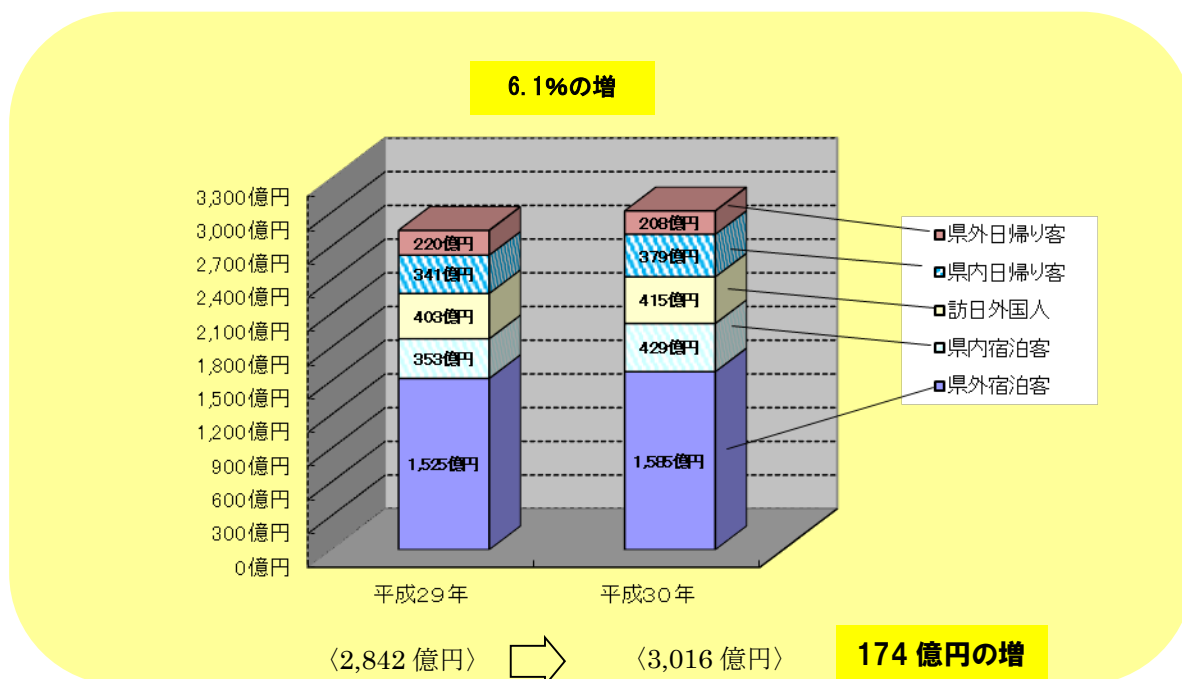
(円)

		平成30年		平成29年	
日本人	宿泊	33,692		31,844	
		県外	県内	県外	県内
		39,106	22,284	36,508	20,510
	日帰り	5,453		4,841	
		県外	県内	県外	県内
7,569		4,727	7,780	3,893	
訪日外国人		75,982		72,161	

※ 観光消費額は、実人数（単位：人回）と観光消費額単価から算出している。実人数については観光入込客統計の共通基準に則り、観光庁の宿泊旅行統計に推計を行い算出している。

※ 観光消費額単価は、鹿児島県内において、旅行者が1回の旅行で使用した金額である。

■ 観光消費額の前年との比較



1 延べ宿泊者数

※居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

※従業員9人以下の宿泊施設の宿泊者数も含む

※その他には国籍(出身地)不詳を含む

3 観光消費額

(百万円)

		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年							
		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)							
日本人	宿泊	191,796		-4.4%	198,726		3.6%	205,620		3.5%	182,977		-11.0%	187,752		2.6%	201,409		7.3%
		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内	
		152,513	39,283		156,340	42,386		157,992	47,628		145,742	37,234		152,495	35,257		158,535	42,874	
	日帰り	39,223		2.9%	44,120		12.5%	48,926		10.9%	47,607		-2.7%	56,153		18.0%	58,706		4.5%
		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内	
		14,057	25,166		16,419	27,629		17,462	31,464		16,980	30,627		22,016	34,137		20,808	37,898	
訪日外国人		15,024		6.5%	19,844		32.1%	29,133		46.8%	26,967		-7.4%	40,338		49.6%	41,486		2.8%
合計		246,043		-2.7%	262,690		6.8%	283,679		8.0%	257,550		-9.2%	284,243		10.4%	301,601		6.1%
		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内	
		181,594	64,449		192,675	70,015		204,587	79,092		189,689	67,862		214,849	69,394		220,829	80,772	

平成 30 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」（詳細）

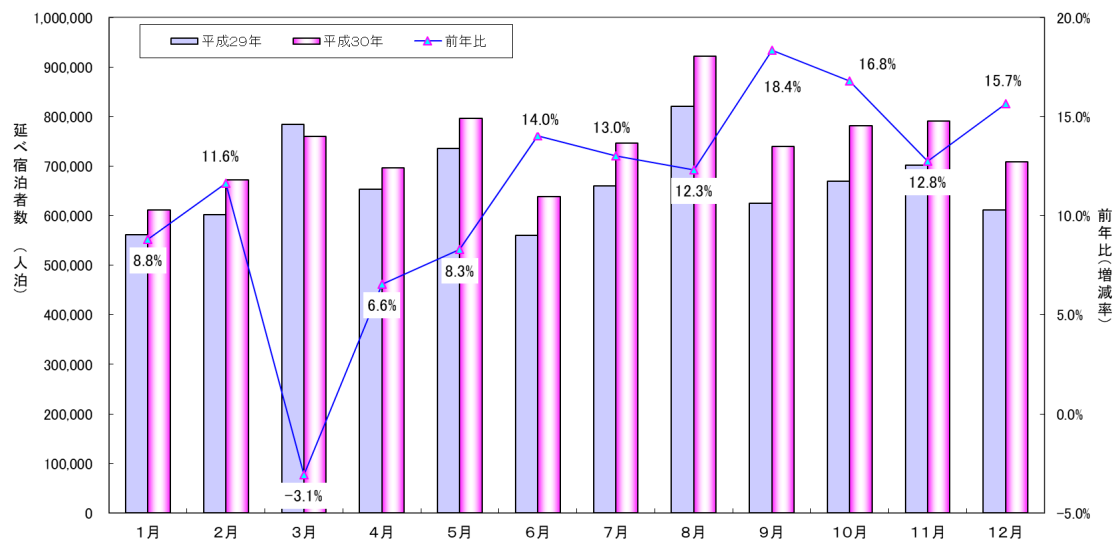
1 宿泊者数

(1) 月別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

- ・新燃岳噴火の影響で3月は減少したものの、大河ドラマ効果等により、前年より宿泊客が増加した。
- ・県外・県内からの宿泊者ともに増加した。

	平成30年			平成29年				平成30年			平成29年		
	県外	県内	合計	県外	県内	合計		県外	県内	合計	県外	県内	合計
1月	439,760	166,390	611,770	398,700	146,380	562,180	8月	649,950	250,770	922,020	578,610	218,900	820,840
2月	511,130	148,300	672,230	446,090	139,040	602,130	9月	538,710	190,490	739,350	454,180	157,030	624,660
3月	574,350	168,780	760,320	587,810	182,000	784,320	10月	564,280	189,500	781,700	492,010	162,220	669,320
4月	521,050	163,140	696,570	475,590	140,500	653,730	11月	569,630	189,660	790,780	500,850	192,700	701,320
5月	580,580	195,200	796,270	545,030	178,740	735,300	12月	491,370	189,870	708,020	418,110	181,070	612,200
6月	453,810	166,680	638,950	412,950	142,430	560,250	合計	6,433,550	2,210,030	8,864,320	5,766,410	2,021,800	7,986,670
7月	538,930	191,250	746,340	456,470	180,790	660,420	前年比(増減率)	11.6%	9.3%	11.0%			

- ※ 延べ宿泊者数は四捨五入をしているため、各月の合計値と総数とは一致しない場合がある。
 ※ 合計は居住地不詳を含むため、県外・県内の合算値とは一致しない。



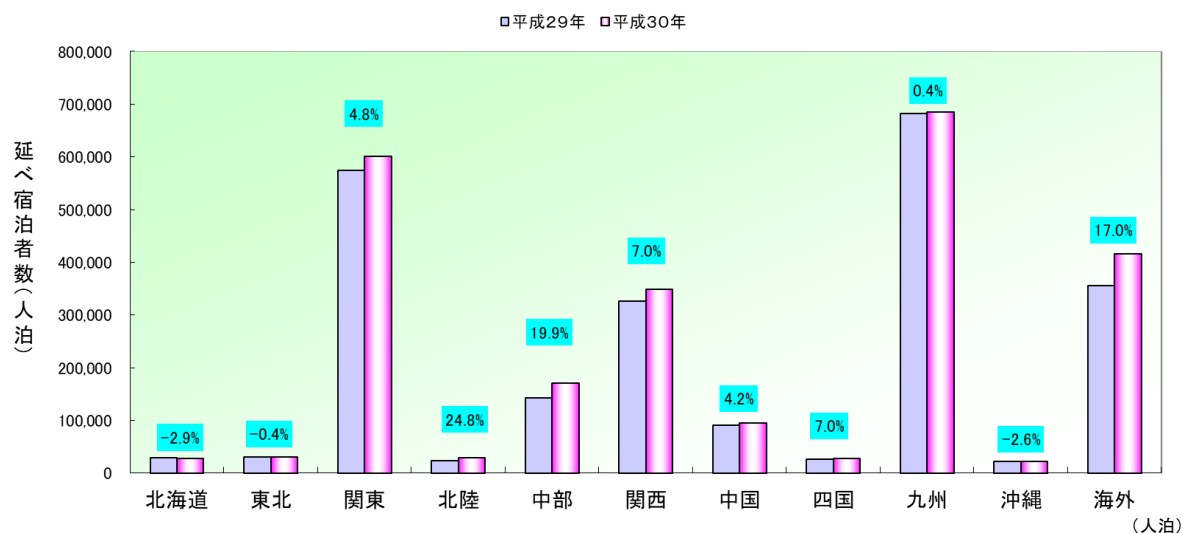
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	611,770	672,230	760,320	696,570	796,270	638,950	746,340	922,020	739,350	781,700	790,780	708,020	8,864,320
平成29年	562,180	602,130	784,320	653,730	735,300	560,250	660,420	820,840	624,660	669,320	701,320	612,200	7,986,670
前年比(増減率)	8.8%	11.6%	-3.1%	6.6%	8.3%	14.0%	13.0%	12.3%	18.4%	16.8%	12.8%	15.7%	11.0%

1 宿泊者数

(2) 発地別県外延べ宿泊者数 【出典：「鹿児島県観光動向調査」】

県外からの宿泊者を発地別で前年と比較すると、韓国を中心とした海外からの宿泊客が大幅に増加した。

また、発地別構成比をみると、九州地区（27.9%）が最も多く、次いで関東地区（24.5%），海外地区（17.0%）となっている。



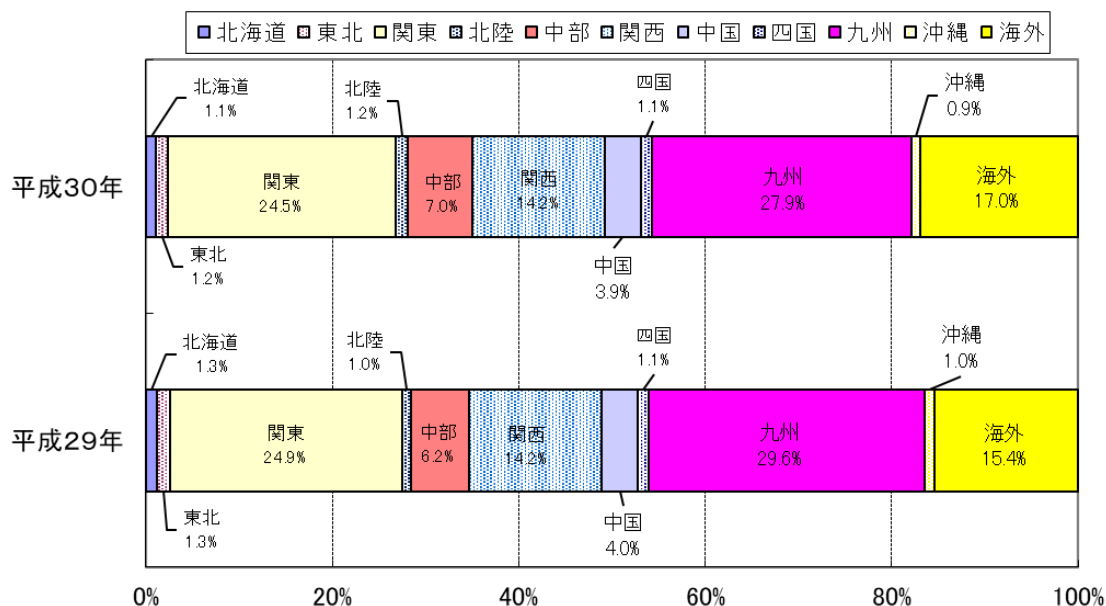
	北海道	東北	関東	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄	海外
平成30年	28,022	30,361	600,958	29,161	171,093	348,931	94,945	28,111	684,562	21,644	416,127
平成29年	28,862	30,490	573,601	23,361	142,702	326,149	91,095	26,279	682,029	22,222	355,544
前年比(増減率)	-2.9%	-0.4%	4.8%	24.8%	19.9%	7.0%	4.2%	7.0%	0.4%	-2.6%	17.0%

※ 県内主要宿泊施設が調査対象であり、宿泊旅行統計とは調査手法が異なる。

※ 九州は鹿児島県を除く6県の合計

※ 平成29年の数値は、平成30年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成29年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

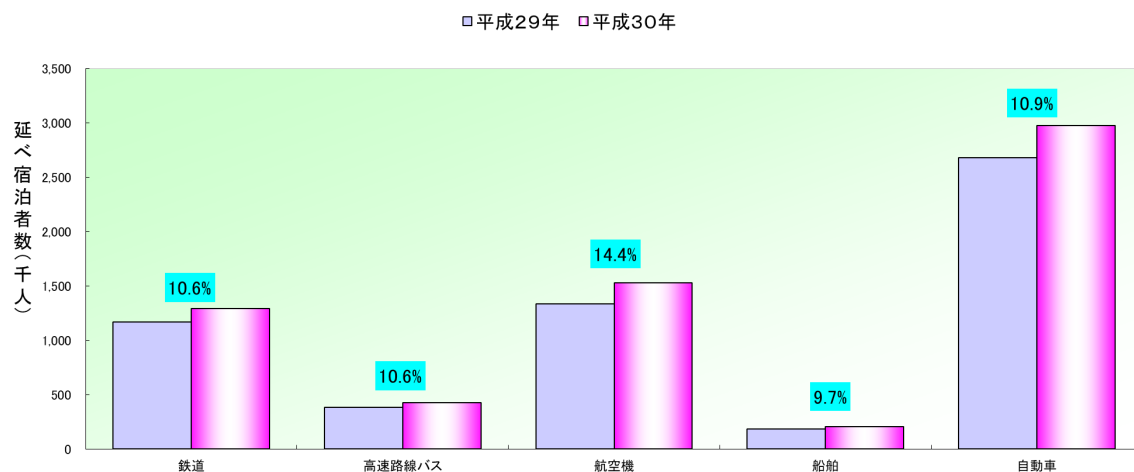
■ 発地別県外延べ宿泊者数の構成比



1 宿泊者数

(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」及び県独自調査】

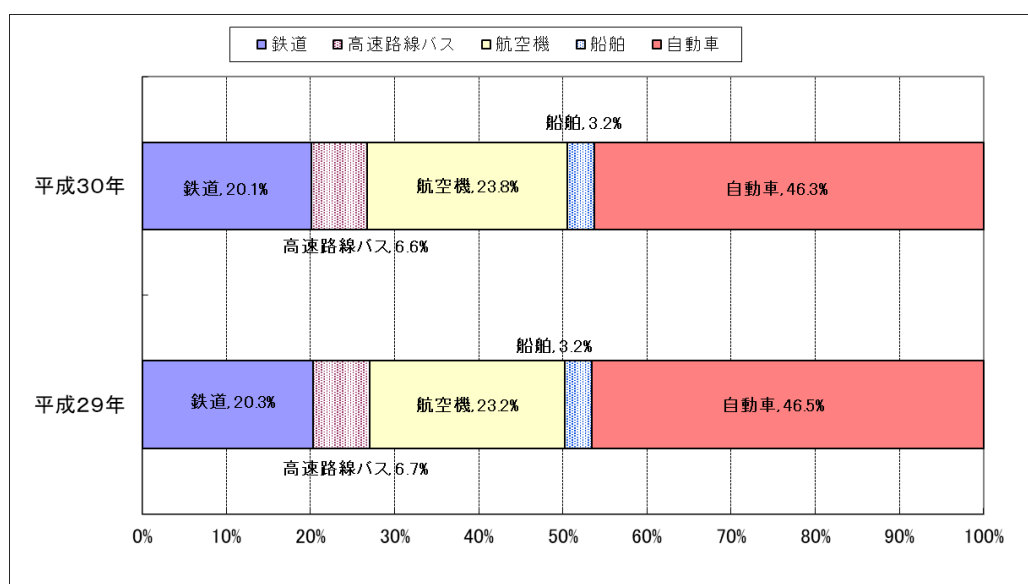
交通機関別県外延べ宿泊者数は、全ての交通機関において増加となった。
また、交通機関別構成比で見ると、自動車（46.3%）が最も多く、次いで航空機（23.8%）、鉄道（20.1%）となっている。



(千人)

	鉄道	高速路線バス	航空機	船舶	自動車
平成30年	1,296	426	1,532	204	2,976
平成29年	1,172	385	1,339	186	2,683
前年比(増減率)	10.6%	10.6%	14.4%	9.7%	10.9%

■ 交通機関別県外延べ宿泊者数の構成比



1 宿泊者数

(4) 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

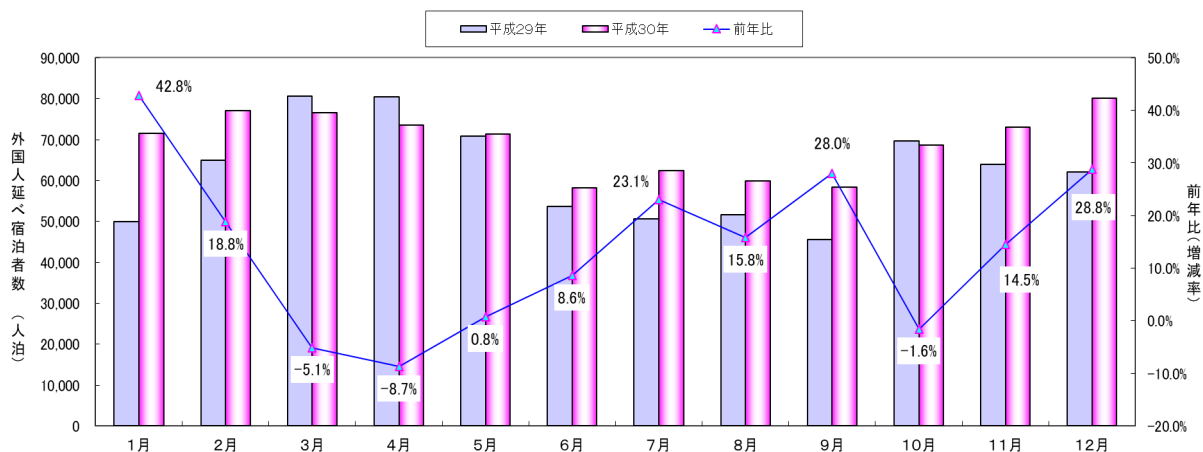
平成 30 年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は、前年比 11.6%増の 830,540 人と過去最高を記録した。

平成 30 年 3 月、4 月に噴火した新燃岳の影響や、連休の並びが昨年とずれた影響などで、3 月、4 月、10 月は前年同月を下回ったものの、全体としては増加となった。

国籍別の構成比では、香港 (29.7%) が最も多く、次いで韓国 (24.9%)、台湾 (19.0%) の順となっている。

- ・ 韓国からの宿泊客は、平成 29 年 11 月にイースター航空が就航したこと等により前年比 115.3%の大幅な増加。
- ・ 台湾からの宿泊客は、チャイナエアラインが平成 29 年 7 月に週 4 便から 5 便に増便したこと等により、前年比 5.2%の増加。
- ・ 中国からの宿泊客は、個人旅行需要が旺盛であり、前年比 2.6%の増加。
- ・ 香港からの宿泊者は、香港航空が平成 30 年 10 月に週 5 便から週 7 便に増便したこと等により、前年比 7.2%の増加。

■ 月別外国人延べ宿泊者数



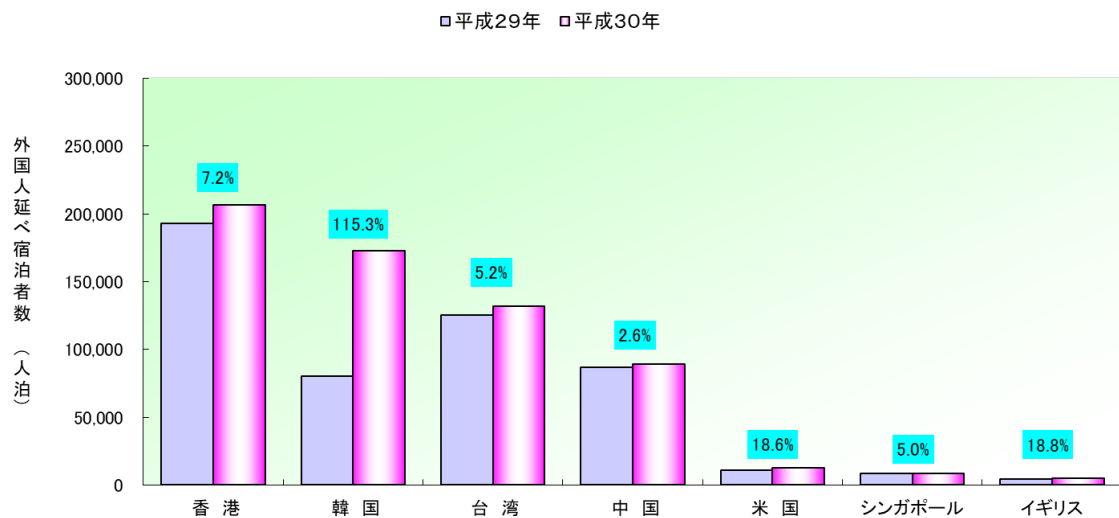
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成30年	71,450	77,150	76,570	73,480	71,420	58,260	62,350	59,810	58,300	68,590	73,110	80,050	830,540
平成29年	50,020	64,920	80,680	80,490	70,870	53,640	50,670	51,630	45,530	69,690	63,870	62,160	744,180
前年比(増減率)	42.8%	18.8%	-5.1%	-8.7%	0.8%	8.6%	23.1%	15.8%	28.0%	-1.6%	14.5%	28.8%	11.6%

※ 従業員数 9 人以下の宿泊施設の宿泊者数も含む

1 宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数

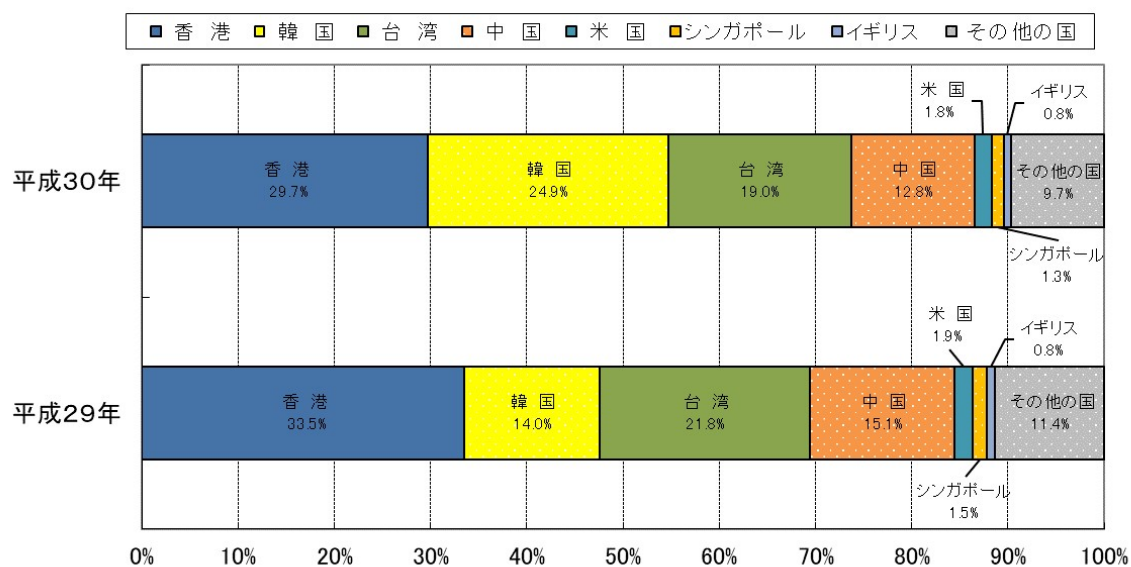
※ 従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数



(人泊)

	香港	韓国	台湾	中国	米国	シンガポール	イギリス	その他の国	合計
平成30年	206,490	173,050	131,960	89,120	12,900	8,780	5,250	67,390	694,940
平成29年	192,660	80,360	125,480	86,820	10,880	8,360	4,420	66,050	575,030
前年比(増減率)	7.2%	115.3%	5.2%	2.6%	18.6%	5.0%	18.8%	2.0%	20.9%

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数の構成比 (※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数)



2 地区別の動向

(1) 地区別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

平成30年の地区別延べ宿泊者数は全地区で前年を上回った。

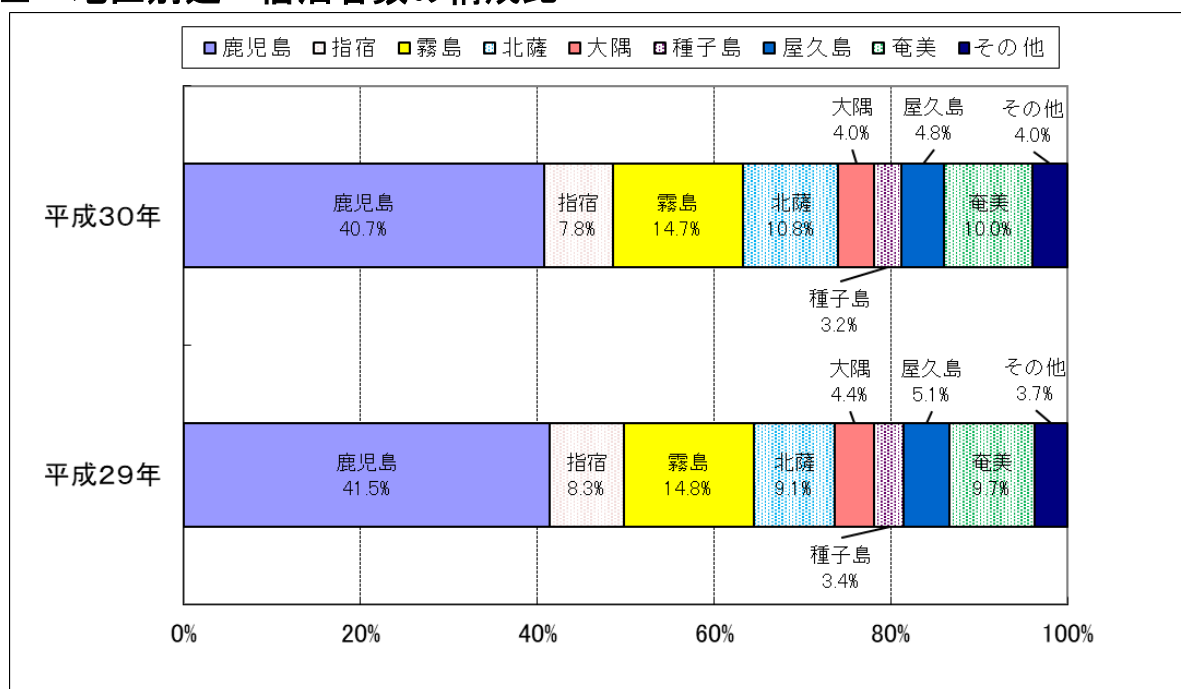
地区別構成比は、鹿児島地区（40.7%）が最も高く、次いで霧島地区（14.7%）、北薩地区（10.8%）となっている。

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅	(人泊)	
平成30年	3,609,825	687,425	1,306,097	956,876	362,292		
平成29年	3,312,190	663,639	1,178,567	724,630	354,943		
前年比(増減率)	9.0%	3.6%	10.8%	32.1%	2.1%		

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成30年	279,407	424,916	885,882	351,600	8,864,320
平成29年	275,475	406,888	774,982	295,356	7,986,670
前年比(増減率)	1.4%	4.4%	14.3%	19.0%	11.0%

※延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入しているため）。

地区別延べ宿泊者数の構成比



2 地区別の動向

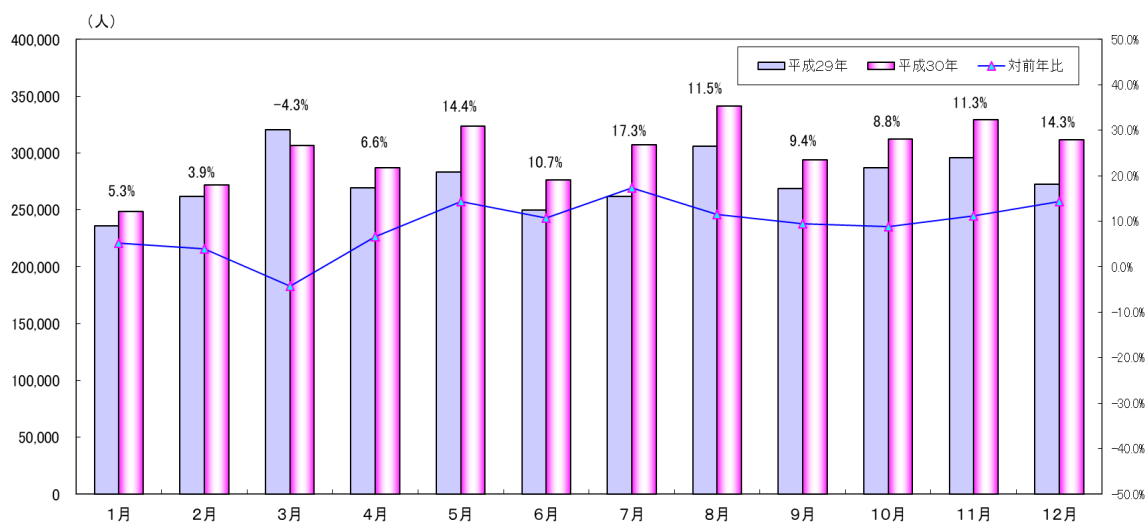
■ 鹿児島地区の延べ宿泊者数の動向

鹿児島地区の延べ宿泊者数は3,609,825人で、前年比9.0%の増加。
大河ドラマ効果等により、県内からの宿泊客、県外からの宿泊客はともに増加。
外国人宿泊客は増加し、全体としても増加。

		(人泊)			
鹿児島地区	平成30年	平成29年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数	3,609,825	3,312,190		9.0%	
1～12月分		県外	県内	県外	県内
		2,651,932	867,621	9.5%	7.4%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【鹿児島地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	248,520	271,878	306,625	287,041	323,726	276,504	307,356	341,331	294,068	312,265	329,074	311,437	3,609,825
平成29年	236,064	261,643	320,284	269,337	282,961	249,711	262,022	306,191	268,734	287,028	295,787	272,429	3,312,190
前年比(増減率)	5.3%	3.9%	-4.3%	6.6%	14.4%	10.7%	17.3%	11.5%	9.4%	8.8%	11.3%	14.3%	9.0%

2 地区別の動向

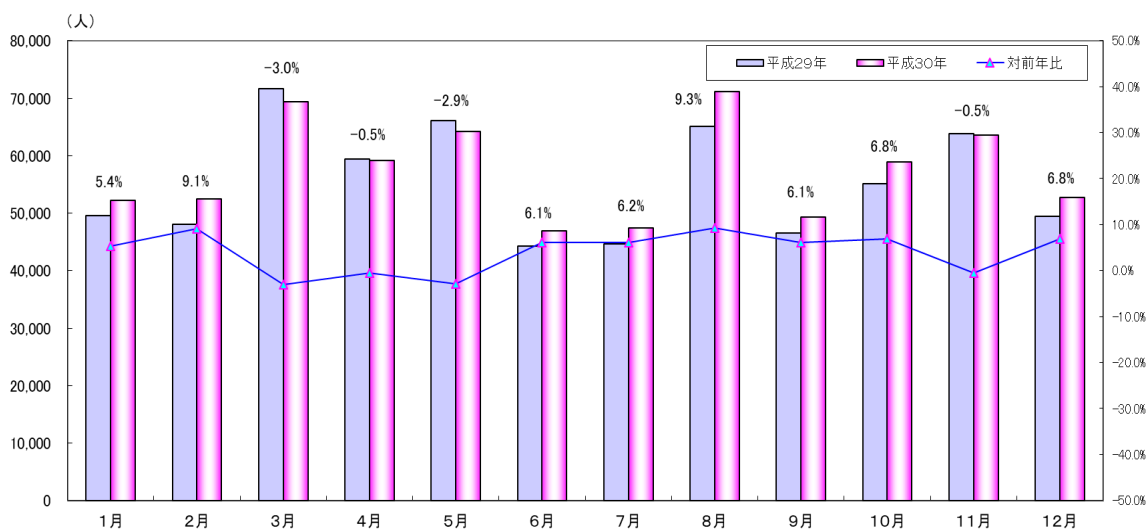
■ 指宿地区の延べ宿泊者数の動向

指宿地区の延べ宿泊者数は 687,425 人で、前年比 3.6%の増加。
大河ドラマ効果等により、県内からの宿泊客、県外からの宿泊客はともに増加。
外国人宿泊客は増加し、全体としても増加。

(人泊)						
指宿地区	平成30年		平成29年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数 1～12月分	687,425		663,639		3.6%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	560,351	109,225	540,413	108,022	3.7%	1.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【指宿地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	52,239	52,453	69,403	59,094	64,197	46,945	47,452	71,173	49,335	58,855	63,509	52,770	687,425
平成29年	49,568	48,057	71,582	59,419	66,121	44,238	44,701	65,123	46,497	55,090	63,854	49,388	663,639
前年比(増減率)	5.4%	9.1%	-3.0%	-0.5%	-2.9%	6.1%	6.2%	9.3%	6.1%	6.8%	-0.5%	6.8%	3.6%

2 地区別の動向

■ 霧島地区の延べ宿泊者数の動向

霧島地区の延べ宿泊者数は1,306,097人で、前年比10.8%の増加。

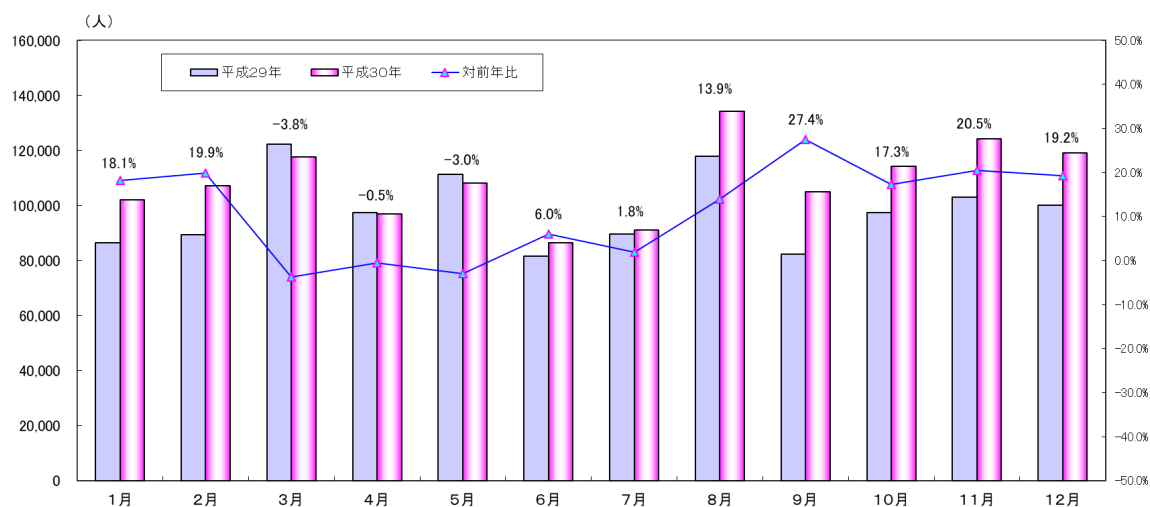
平成30年3月、4月に噴火した新燃岳の影響で、3月から5月にかけて、宿泊客は減少したものの、大河ドラマ効果等により、全体としては、宿泊客は増加。

外国人宿泊客は増加し、全体としても増加。

		(人泊)			
霧島地区	平成30年	平成29年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数	1,306,097	1,178,567		10.8%	
1～12月分		県外	県内	県外	県内
	1,000,301	272,649	883,037	266,918	13.3% 2.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【霧島地区の月別延べ宿泊者数】



													(人泊)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	102,079	107,193	117,567	96,900	108,033	86,504	91,168	134,084	104,914	114,263	124,244	119,148	1,306,097
平成29年	86,417	89,423	122,220	97,401	111,382	81,623	89,545	117,770	82,331	97,413	103,088	99,955	1,178,567
前年比(増減率)	18.1%	19.9%	-3.8%	-0.5%	-3.0%	6.0%	1.8%	13.9%	27.4%	17.3%	20.5%	19.2%	10.8%

2 地区別の動向

■ 北薩地区の延べ宿泊者数の動向

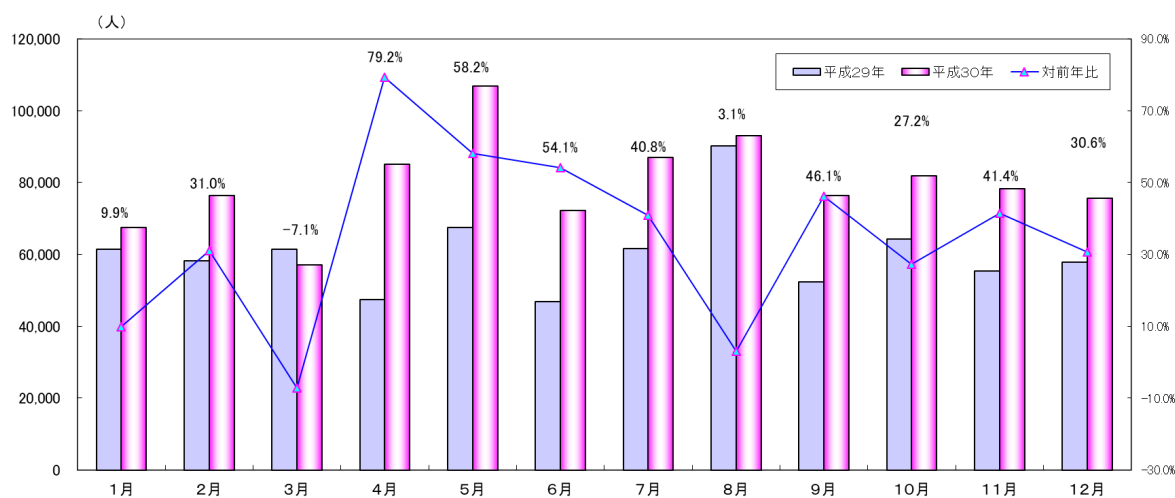
北薩地区の延べ宿泊者数は 956,876 人で、前年比 32.1% の増加。
大河ドラマ効果等により、県内からの宿泊客、県外からの宿泊客はともに増加。
外国人宿泊客は増加し、全体としても増加。

(人泊)

北薩地区	平成30年		平成29年		前年比（増減率）	
延べ宿泊者数 1～12月分	956,876		724,630		32.1%	
	県外 634,525	県内 298,173	県外 494,821	県内 211,207	県外 28.2%	県内 41.2%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【北薩地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	67,491	76,315	57,103	84,988	106,876	72,171	86,896	92,948	76,466	81,816	78,242	75,564	956,876
平成29年	61,407	58,240	61,463	47,420	67,570	46,841	61,697	90,156	52,323	64,337	55,320	57,856	724,630
前年比(増減率)	9.9%	31.0%	-7.1%	79.2%	58.2%	54.1%	40.8%	3.1%	46.1%	27.2%	41.4%	30.6%	32.1%

2 地区別の動向

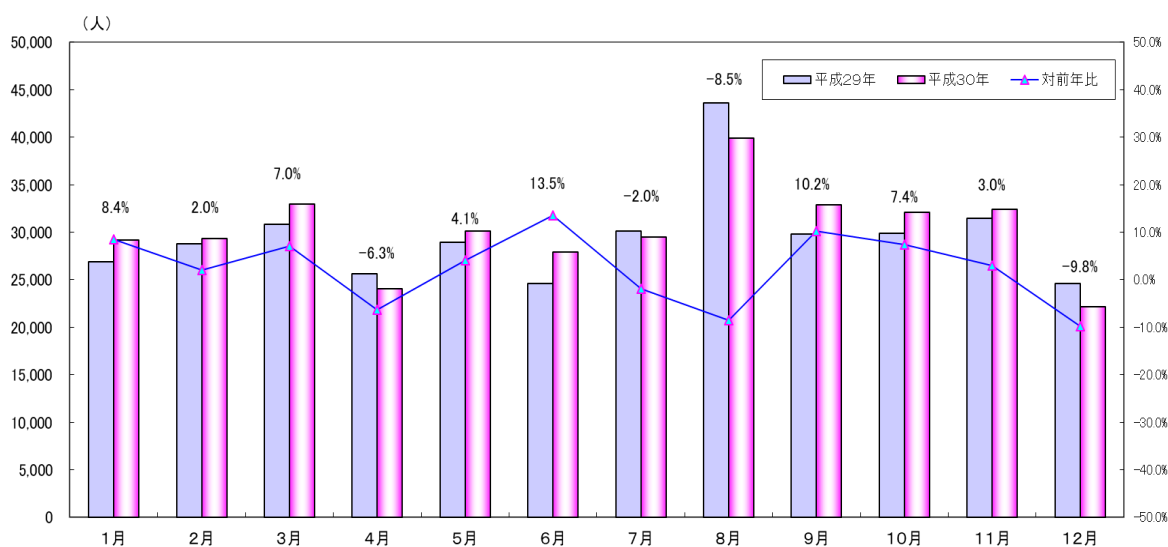
■ 大隅地区の延べ宿泊者数の動向

大隅地区の延べ宿泊者数は 362,292 人で、前年比 2.1%の増加。
 県内からの宿泊客、県外からの宿泊客はともに増加。
 外国人宿泊客は増加し、全体としても増加。

		(人泊)			
大隅地区		平成30年		平成29年	
延べ宿泊者数		362,292		354,943	
1～12月分		県外	県内	県外	県内
		227,918	126,951	219,838	125,520
		前年比(増減率)		2.1%	
				県外	県内
				3.7%	1.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【大隅地区の月別延べ宿泊者数】



													(人泊)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	29,137	29,342	32,988	24,008	30,112	27,877	29,492	39,898	32,839	32,060	32,384	22,155	362,292
平成29年	26,868	28,767	30,830	25,631	28,915	24,563	30,094	43,604	29,810	29,860	31,441	24,559	354,943
前年比(増減率)	8.4%	2.0%	7.0%	-6.3%	4.1%	13.5%	-2.0%	-8.5%	10.2%	7.4%	3.0%	-9.8%	2.1%

2 地区別の動向

■ 種子島地区の延べ宿泊者数の動向

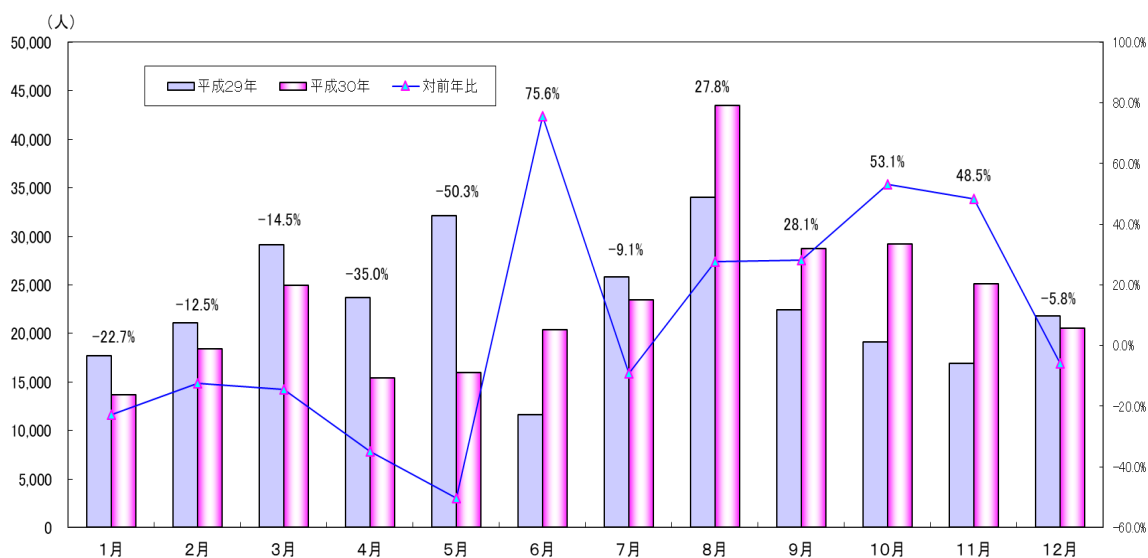
種子島地区の延べ宿泊者数は 279,407 人で、前年比 1.4% の増加。
 県内からの宿泊客、県外からの宿泊客はともに増加
 外国人宿泊客は増加し、全体としても増加。

(人泊)

種子島地区	平成30年		平成29年		前年比（増減率）	
延べ宿泊者数	279,407		275,475		1.4%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
1～12月分	176,072	96,695	172,466	95,608	2.1%	1.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【種子島地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	13,687	18,447	24,935	15,406	15,976	20,412	23,497	43,462	28,752	29,236	25,085	20,512	279,407
平成29年	17,701	21,083	29,149	23,708	32,155	11,626	25,840	34,004	22,437	19,098	16,893	21,781	275,475
前年比(増減率)	-22.7%	-12.5%	-14.5%	-35.0%	-50.3%	75.6%	-9.1%	27.8%	28.1%	53.1%	48.5%	-5.8%	1.4%

2 地区別の動向

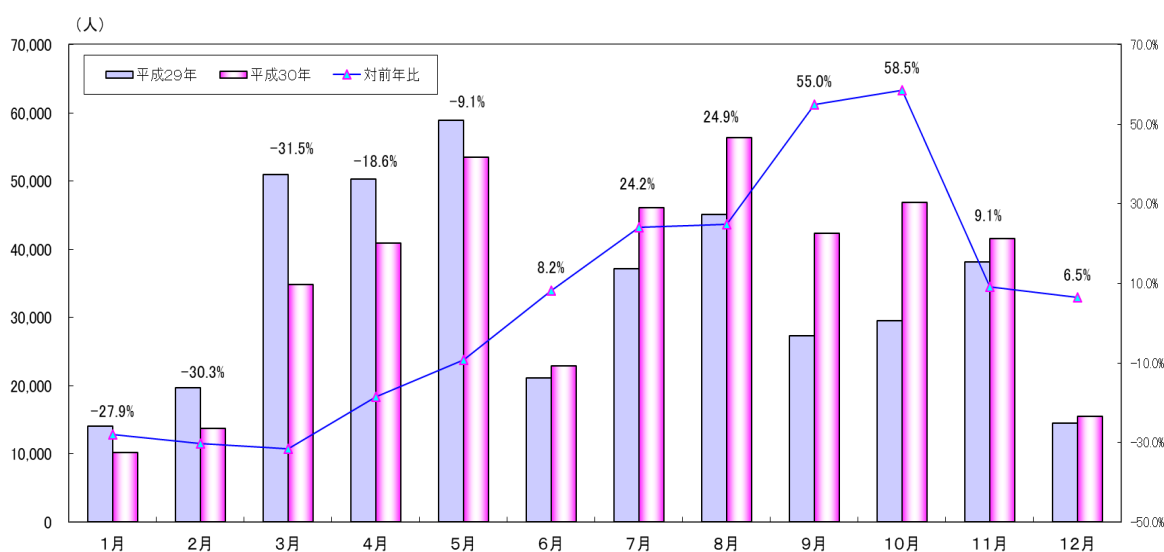
■ 屋久島地区の延べ宿泊者数の動向

屋久島地区の延べ宿泊者数は424,916人で、前年比4.4%の増加。
県内からの宿泊客、県外からの宿泊客はともに増加。
外国人宿泊客は減少したが、全体としては増加。

		(人泊)			
屋久島地区	平成30年	平成29年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数 1～12月分	424,916	406,888		4.4%	
	県外 県内	県外	県内	県外	県内
	380,542 33,173	366,436	31,868	3.8%	4.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【屋久島地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	10,157	13,765	34,877	40,952	53,485	22,937	46,088	56,376	42,321	46,893	41,590	15,475	424,916
平成29年	14,086	19,742	50,911	50,298	58,865	21,193	37,119	45,139	27,300	29,586	38,110	14,537	406,888
前年比(増減率)	-27.9%	-30.3%	-31.5%	-18.6%	-9.1%	8.2%	24.2%	24.9%	55.0%	58.5%	9.1%	6.5%	4.4%

2 地区別の動向

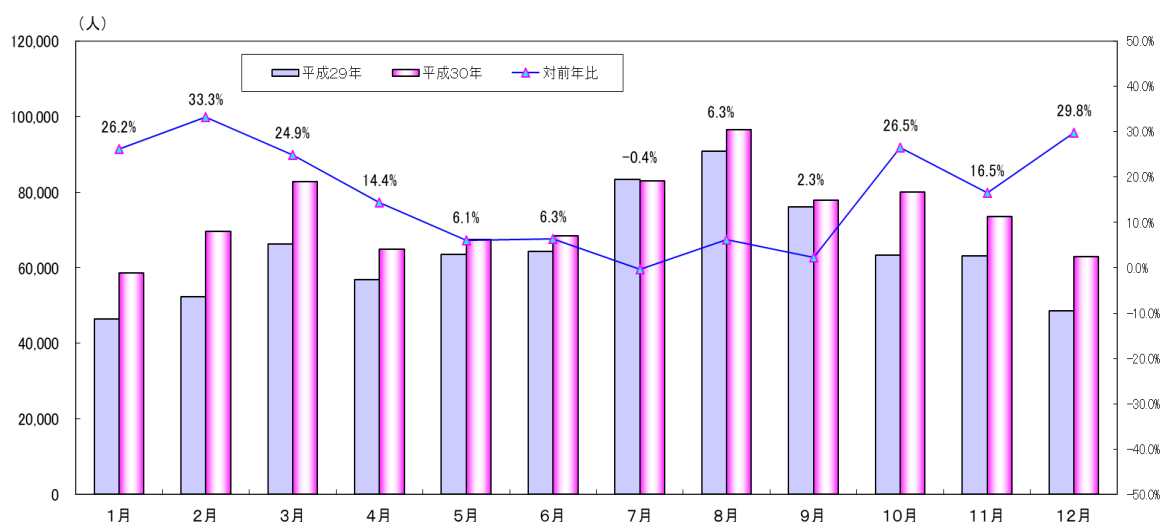
■ 奄美地区の延べ宿泊者数の動向

奄美地区の延べ宿泊者数は 885,882 人で、前年比 14.3% の増加。
 県内からの宿泊客、県外からの宿泊客はともに増加
 外国人宿泊客は増加し、全体としても増加。

		(人泊)				
奄美地区	平成30年		平成29年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数	885,882		774,982		14.3%	
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	547,761	317,192	482,664	271,445	13.5%	16.9%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【奄美地区の月別延べ宿泊者数】



													(人泊)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	58,552	69,712	82,731	64,982	67,521	68,387	83,014	96,488	77,923	80,030	73,541	63,001	885,882
平成29年	46,405	52,312	66,250	56,794	63,620	64,322	83,332	90,785	76,188	63,274	63,150	48,548	774,982
前年比(増減率)	26.2%	33.3%	24.9%	14.4%	6.1%	6.3%	-0.4%	6.3%	2.3%	26.5%	16.5%	29.8%	14.3%

2 地区別の動向

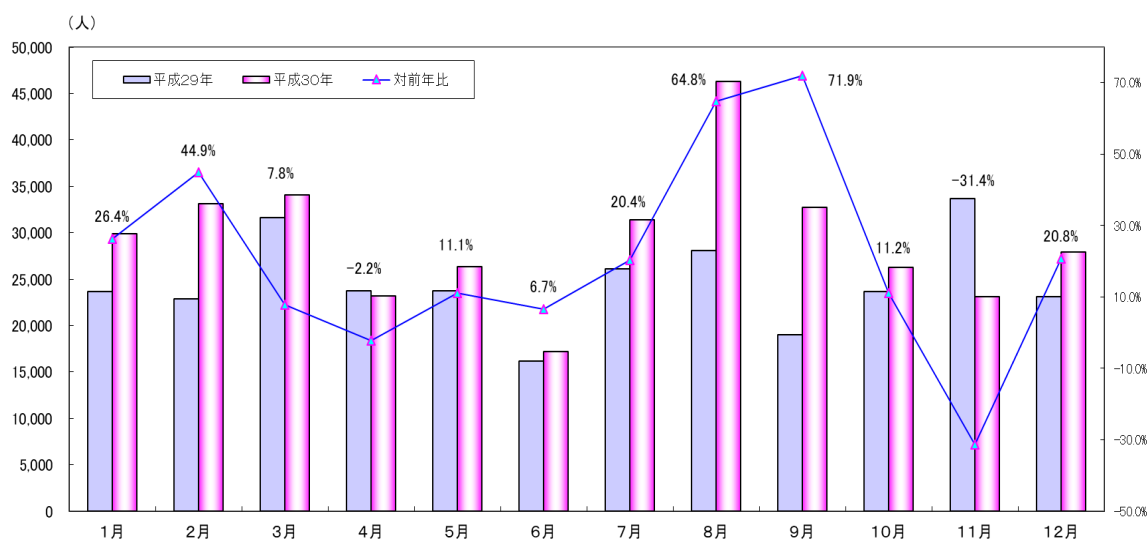
■ その他地区の延べ宿泊者数の動向

その他地区の延べ宿泊者数は 351,600 人で、前年比 19.0%の増加。
県内からの宿泊客は減少し、県外からの宿泊客は増加、全体としては増加。

(人泊)						
その他地区	平成30年		平成29年		前年比(増減率)	
延べ宿泊者数 1～12月分	351,600		295,356		19.0%	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	254,148	88,352	184,352	103,057	37.9%	-14.3%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【その他地区の月別延べ宿泊者数】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(合計)
平成30年	29,908	33,125	34,091	23,199	26,344	17,213	31,377	46,260	32,732	26,282	23,111	27,958	351,600
平成29年	23,664	22,862	31,630	23,722	23,710	16,133	26,070	28,067	19,040	23,633	33,678	23,147	295,356
前年比(増減率)	26.4%	44.9%	7.8%	-2.2%	11.1%	6.7%	20.4%	64.8%	71.9%	11.2%	-31.4%	20.8%	19.0%

2 地区別の動向

(2) 地区別延べ日帰り客数 【出典：観光庁「観光入込客統計」を用いて県で推定】

平成30年の延べ日帰り客数は、全体として前年比0.3%の増加。

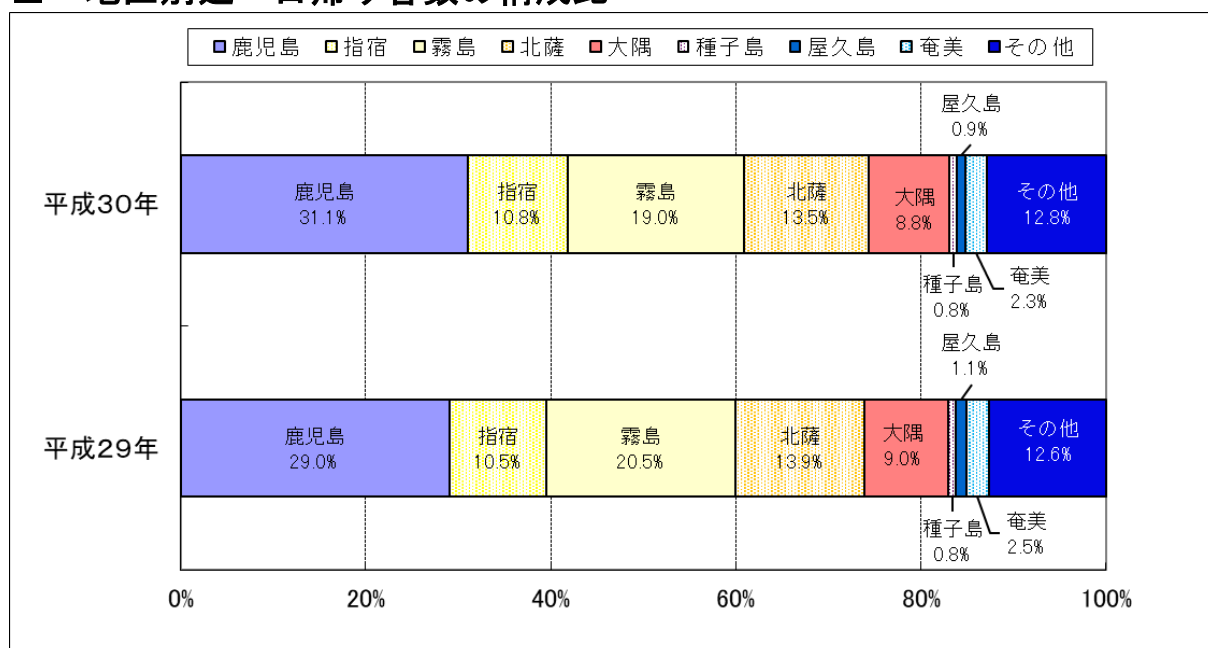
地区別構成比は、鹿児島地区(31.1%)が最も高く、次いで霧島地区(19.0%)、北薩地区(13.5%)となっている。

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成30年	4,295,928	1,496,166	2,627,997	1,864,617	1,215,187
平成29年	3,999,446	1,446,509	2,820,560	1,921,028	1,246,784
前年比(増減率)	7.4%	3.4%	-6.8%	-2.9%	-2.5%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成30年	111,314	129,733	316,475	1,761,583	13,819,000
平成29年	112,049	153,650	342,566	1,739,408	13,782,000
前年比(増減率)	-0.7%	-15.6%	-7.6%	1.3%	0.3%

■ 地区別延べ日帰り客数の構成比



2 地区別の動向

(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数

平成30年の地区別延べ宿泊者数と地区別延べ日帰り客数の合算値は、霧島、大隅、屋久島地区以外が前年を上回り、全体としては前年比4.2%の増加となった。

地区別構成比は、鹿児島地区（34.9%）が最も高く、次いで霧島地区（17.3%）、北薩地区（12.5%）となった。

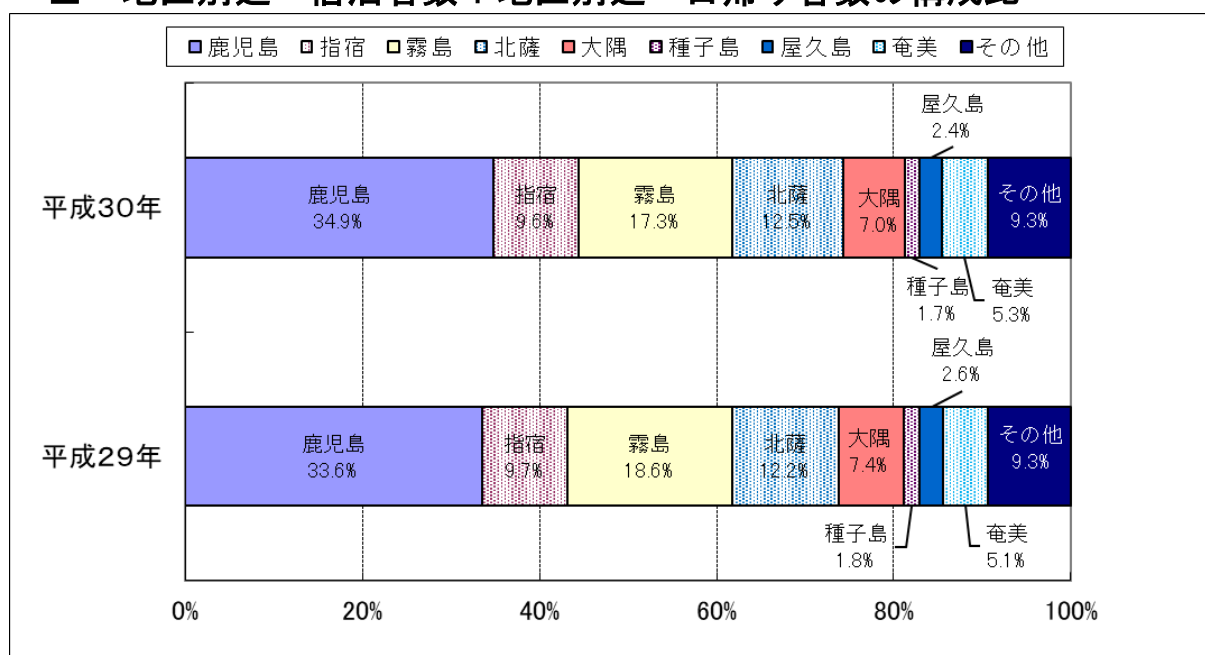
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成30年	7,905,753	2,183,591	3,934,094	2,821,493	1,577,479
平成29年	7,311,636	2,110,148	3,999,127	2,645,658	1,601,727
前年比(増減率)	8.1%	3.5%	-1.6%	6.6%	-1.5%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成30年	390,721	554,649	1,202,357	2,113,183	22,683,320
平成29年	387,524	560,539	1,117,548	2,034,764	21,768,670
前年比(増減率)	0.8%	-1.1%	7.6%	3.9%	4.2%

※ 延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入している）。

■ 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数の構成比



2 地区別の動向

(4) 地区別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

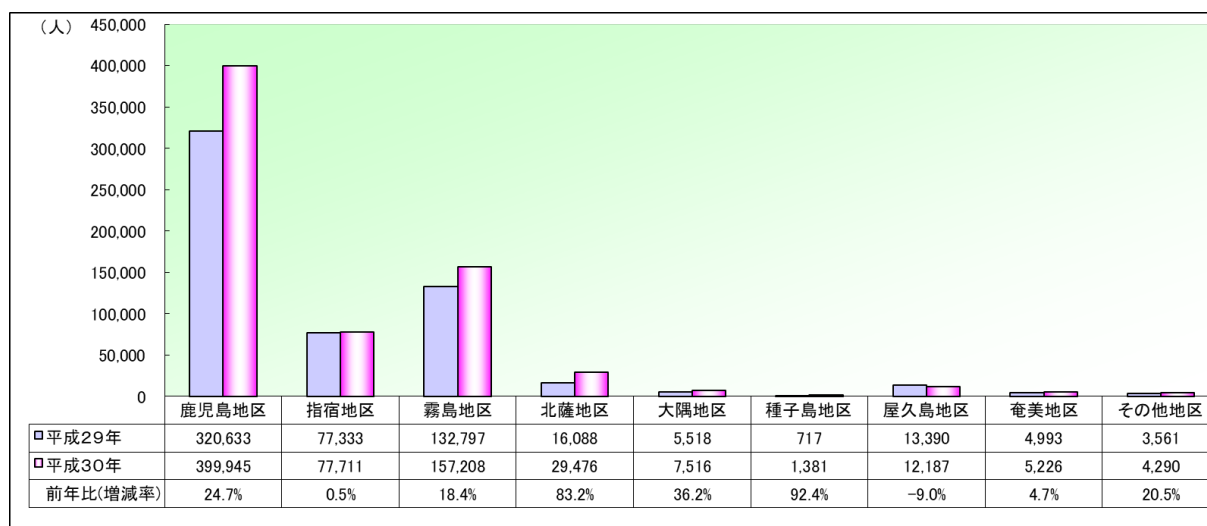
平成30年の地区別外国人延べ宿泊者数は、屋久島地区以外が前年を上回り、全体としては前年比20.9%の増加となった。

(人泊)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成30年	399,945	77,711	157,208	29,476	7,516
平成29年	320,633	77,333	132,797	16,088	5,518
前年比(増減率)	24.7%	0.5%	18.4%	83.2%	36.2%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成30年	1,381	12,187	5,226	4,290	694,940
平成29年	717	13,390	4,993	3,561	575,030
前年比(増減率)	92.4%	-9.0%	4.7%	20.5%	20.9%

※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数で比較

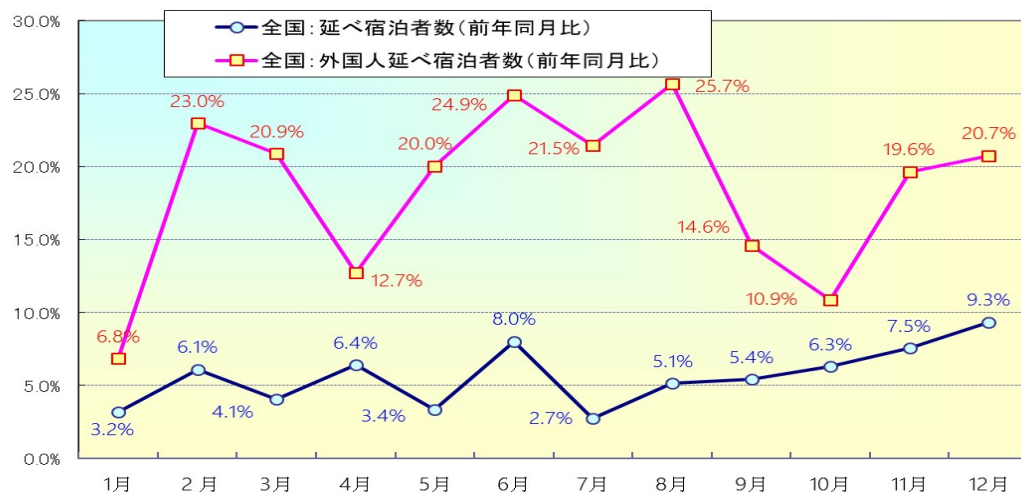


※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数を用いて作図

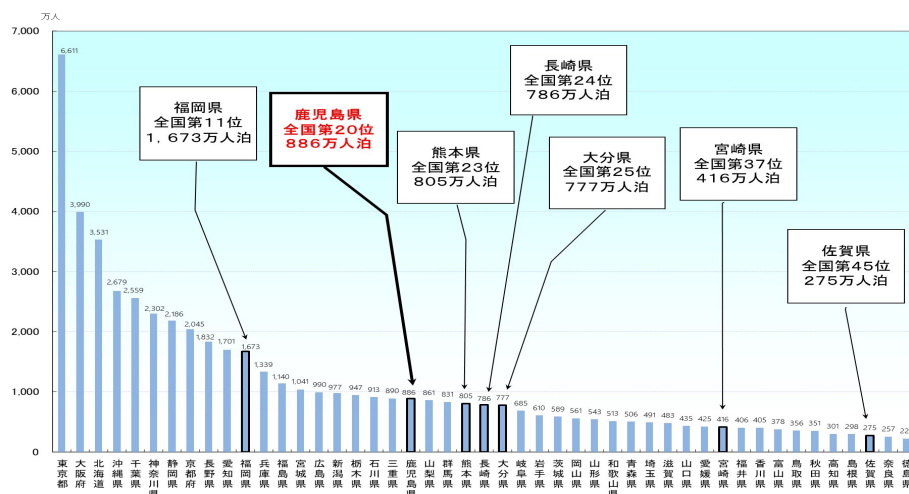
参考資料

1 全国における宿泊者の動向【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

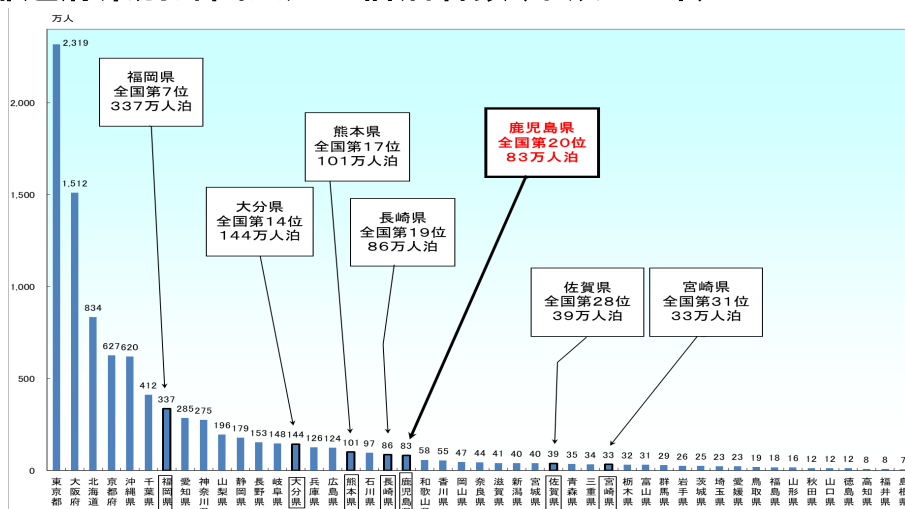
(1) 月別延べ宿泊者数(平成 30 年)



(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 30 年)

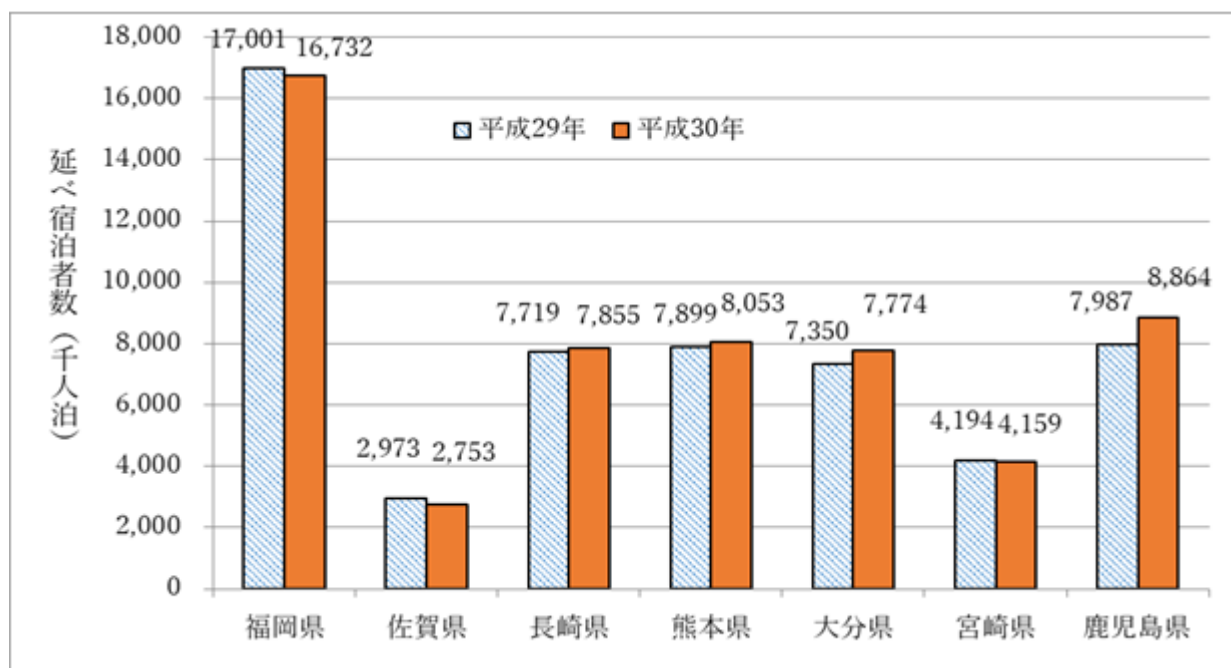


(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 30 年)



2 九州における宿泊者の動向

(1) 九州各県別延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



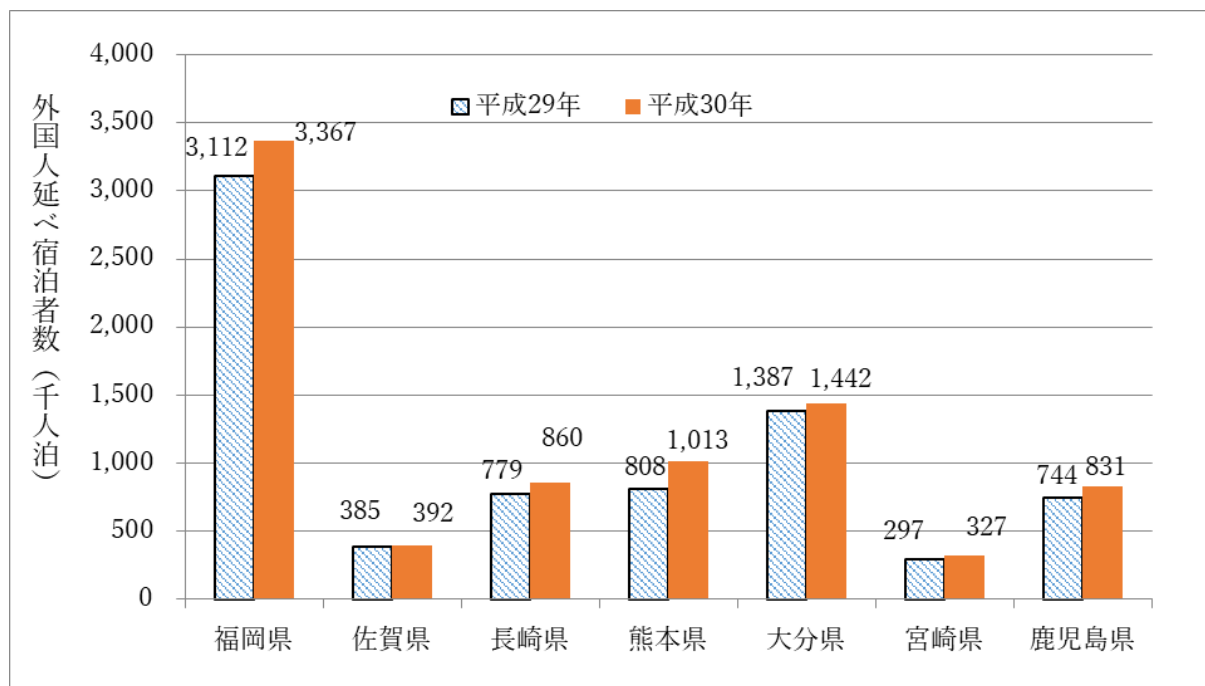
単位：人泊

	平成29年	平成30年			前年比 増減率
			全国順位	九州順位	
福岡県	17,001,170	16,731,560	11位	1 位	-1.6%
佐賀県	2,973,270	2,752,990	45位	7 位	-7.4%
長崎県	7,719,200	7,855,080	24位	4 位	1.8%
熊本県	7,898,550	8,053,190	23位	3 位	2.0%
大分県	7,350,280	7,774,300	25位	5 位	5.8%
宮崎県	4,194,130	4,158,780	37位	6 位	-0.8%
鹿児島県	7,986,670	8,864,320	20位	2 位	11.0%
九州計	55,123,270	56,190,220			1.9%
全国	509,596,860	538,001,500			5.6%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数

2 九州における宿泊旅行者の動向

(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



単位：人泊

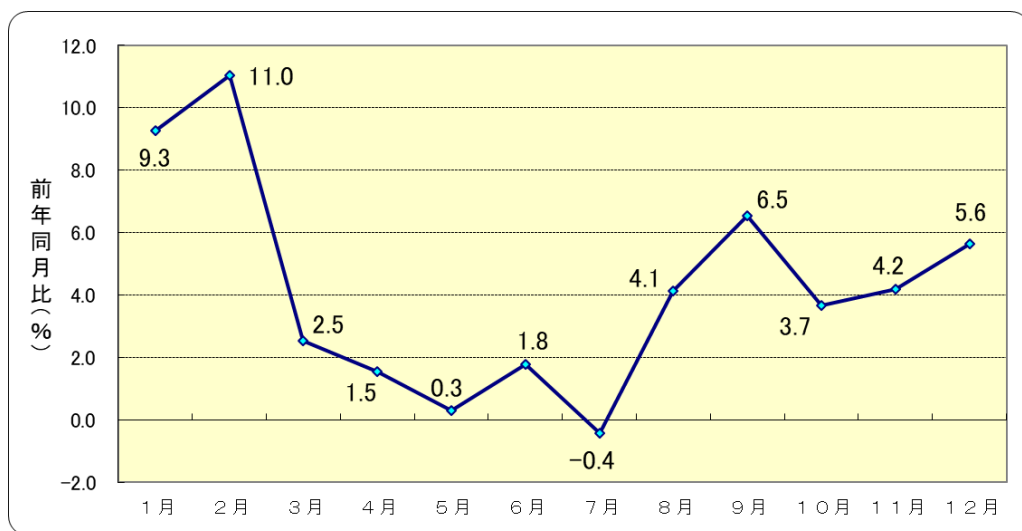
	平成29年	平成30年	順位		前年比 増減率
			全国順位	九州順位	
福岡県	3,112,070	3,366,510	7位	1位	8.2%
佐賀県	385,250	391,900	28位	6位	1.7%
長崎県	779,250	860,090	19位	4位	10.4%
熊本県	807,750	1,013,020	17位	3位	25.4%
大分県	1,386,930	1,442,210	14位	2位	4.0%
宮崎県	296,670	326,530	31位	7位	10.1%
鹿児島県	744,180	830,540	20位	5位	11.6%
九州計	7,512,090	8,230,800			9.6%
全国	79,690,590	94,275,240			18.3%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数

3 鹿児島県観光動向調査（サンプル調査）

(1) 月別の宿泊客数

平成30年上半期の主要宿泊施設の宿泊者数は前年を上回り、4.2%増加した。
平成30年下半期の主要宿泊施設の宿泊者数は前年を上回り、3.9%増加した。

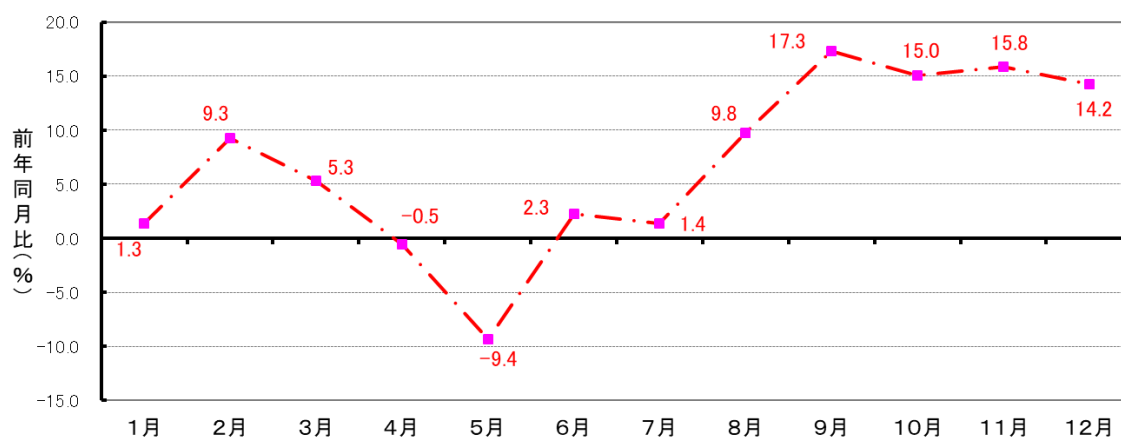


宿泊客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成30年	275,468	290,865	344,602	281,392	306,121	251,774	269,251	349,289	272,661	294,494	313,290	280,963	3,530,170
平成29年	252,111	261,948	336,111	277,103	305,213	247,392	270,400	335,472	255,940	284,063	300,698	265,981	3,392,432
前年比	9.3%	11.0%	2.5%	1.5%	0.3%	1.8%	-0.4%	4.1%	6.5%	3.7%	4.2%	5.6%	4.1%
	上半期					4.2%	下半期					3.9%	

単位：人泊

(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数

県内の主要観光施設・ドライブインの入場者数を前年と比較すると、5.9%の増加となった。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成30年	883,631	450,168	574,387	606,612	715,803	407,066	434,352	765,927	546,275	606,245	699,490	512,191	7,202,147
平成29年	871,939	411,955	545,533	609,928	789,815	398,055	428,551	697,721	465,642	527,034	603,899	448,407	6,798,479
前年比	1.3%	9.3%	5.3%	-0.5%	-9.4%	2.3%	1.4%	9.8%	17.3%	15.0%	15.8%	14.2%	5.9%

単位：人

3 鹿児島県観光動向調査（サンプル調査）

(3) 旅行形態別延べ宿泊客数

主要宿泊施設の宿泊客を形態別にみると、個人客数は前年と比較すると8.0%増加し、団体客数は3.6%の増加となった。

《平成29年》 (単位: 人, %)

	宿泊客数	構成比
合 計	2,571,706	
個人客(含む家族・小グループ)	1,983,325	(77.1)
団体客(15名以上)	588,381	
一般団体・企画商品	495,089	(19.3)
大 会	46,266	(1.8)
教育旅行	47,026	(1.8)

注: 調査対象のうち回答があった施設の集計

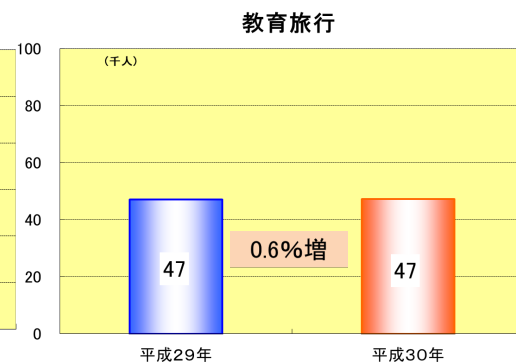
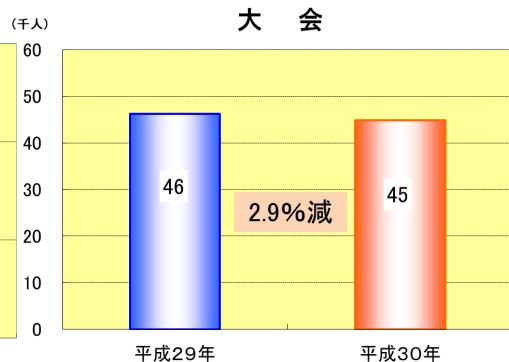
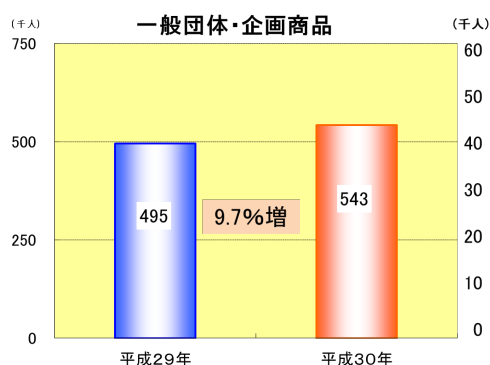
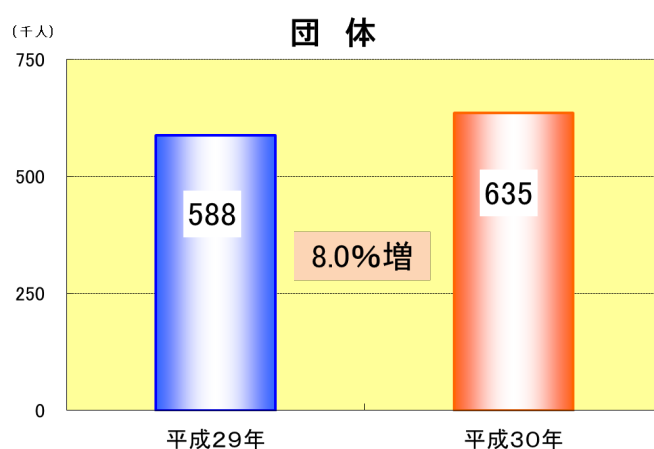
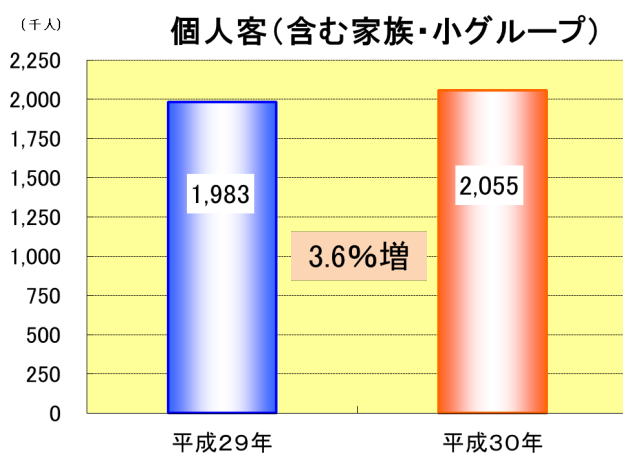
《平成30年》 (単位: 人, %)

	宿泊客数	構成比
合 計	2,690,372	
個人客(含む家族・小グループ)	2,055,083	(76.4)
団体客(15名以上)	635,289	
一般団体・企画商品	543,089	(20.2)
大 会	44,915	(1.7)
教育旅行	47,285	(1.8)

注: 調査対象のうち回答があった施設の集計

個人

団体

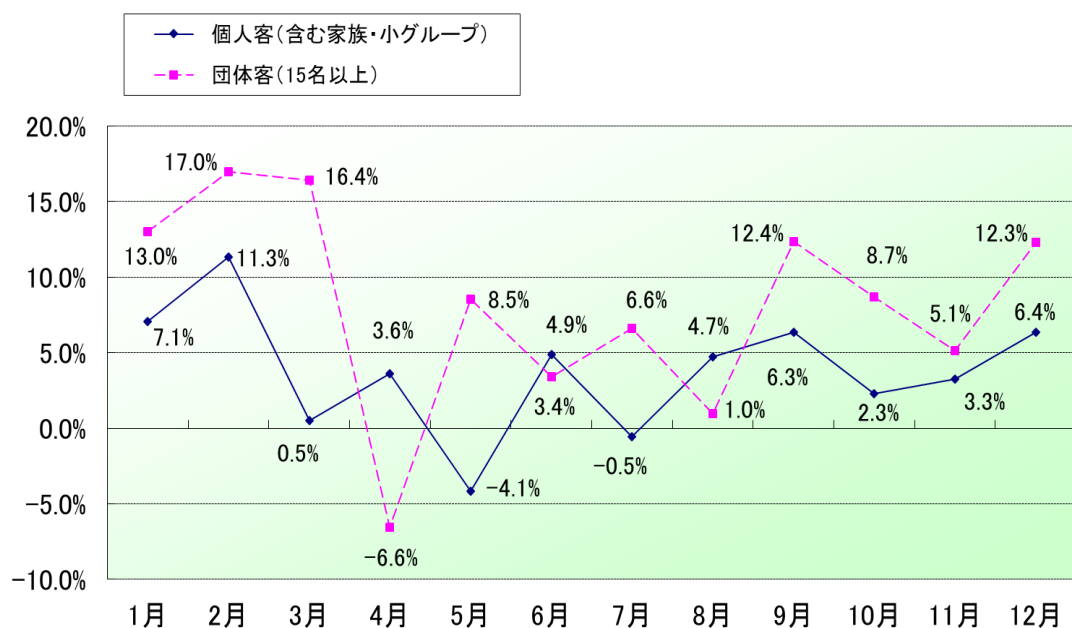


※1 調査対象のうち回答があった施設の集計

※2 平成29の数値は、平成30サンプル施設数とベースを合わせているため、「平成29鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

3 鹿児島県観光動向調査（サンプル調査）

(4) 月別旅行形態の動向（対前年同月比）



単位: 人

《個人客数》	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平成30年	171,823	163,923	187,126	178,252	174,049	137,569	159,848	227,615	157,847	160,764	174,566	161,701	2,055,083
平成29年	160,460	147,219	186,185	172,017	181,572	131,173	160,703	217,339	148,442	157,152	169,048	152,015	1,983,325
前年比	7.1%	11.3%	0.5%	3.6%	-4.1%	4.9%	-0.5%	4.7%	6.3%	2.3%	3.3%	6.4%	3.6%

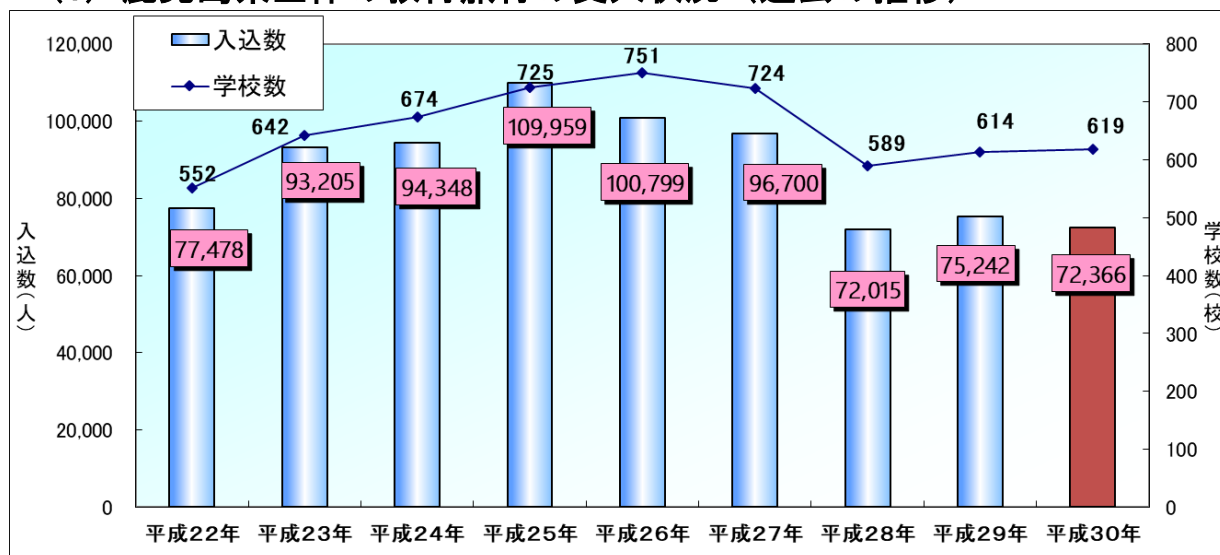
単位: 人

《団体客数》	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平成30年	40,454	58,157	66,688	52,503	59,075	53,979	35,780	39,582	49,301	57,909	71,649	50,212	635,289
平成29年	35,789	49,713	57,286	56,191	54,435	52,194	33,559	39,207	43,875	53,268	68,144	44,720	588,381
前年比	13.0%	17.0%	16.4%	-6.6%	8.5%	3.4%	6.6%	1.0%	12.4%	8.7%	5.1%	12.3%	8.0%

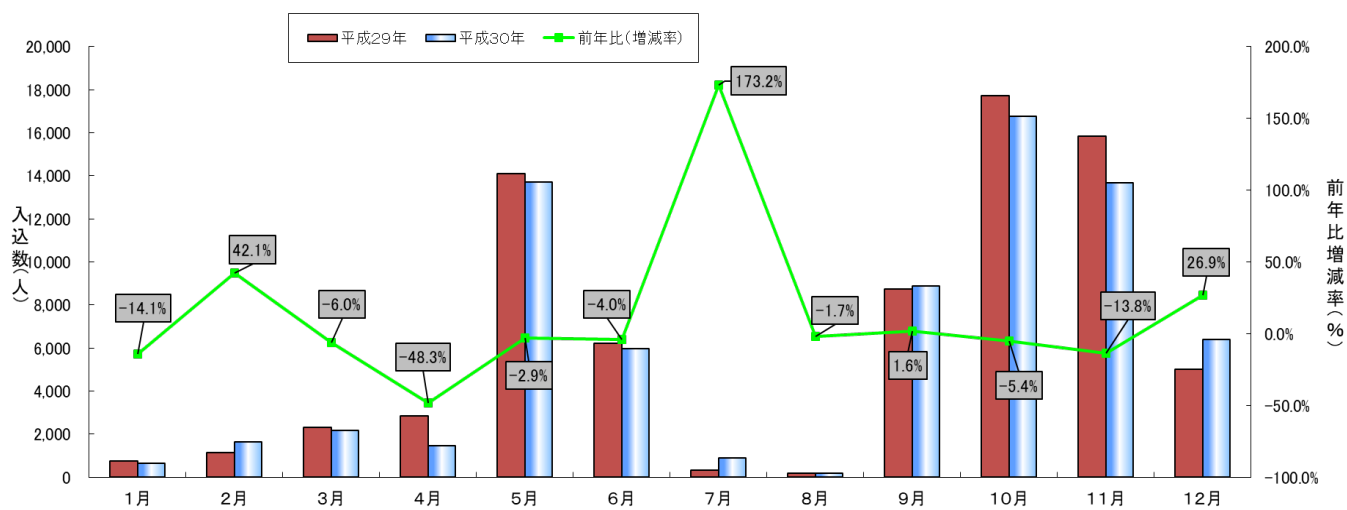
4 教育旅行の受入状況

出典：「平成30年鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況（過去の推移）



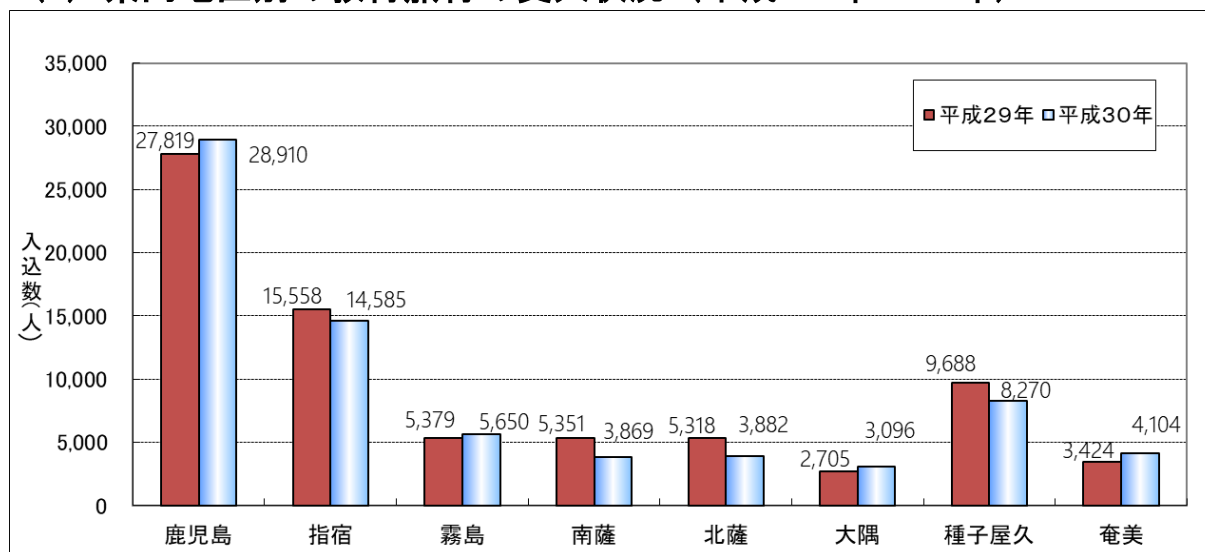
(2) 月別の教育旅行の受入状況（平成29年～平成30年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位：人 合計
平成30年	659	1,621	2,168	1,467	13,694	5,976	907	173	8,877	16,779	13,663	6,382	72,366
平成29年	767	1,141	2,306	2,836	14,100	6,228	332	176	8,740	17,734	15,853	5,029	75,242
前年比（増減率）	-14.1%	42.1%	-6.0%	-48.3%	-2.9%	-4.0%	173.2%	-1.7%	1.6%	-5.4%	-13.8%	26.9%	-3.8%

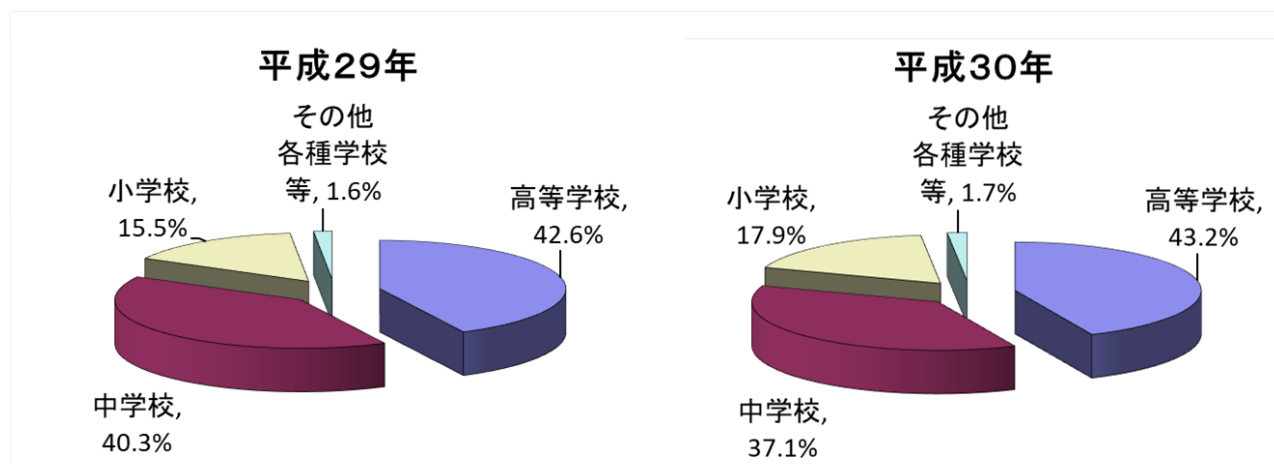
4 教育旅行の受入状況

(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況（平成 29 年～30 年）



	鹿児島	指宿	霧島	南薩	北薩	大隅	種子屋久	奄美	単位:人 合計
平成30年	28,910	14,585	5,650	3,869	3,882	3,096	8,270	4,104	72,366
平成29年	27,819	15,558	5,379	5,351	5,318	2,705	9,688	3,424	75,242
前年比(増減率)	3.9%	-6.3%	5.0%	-27.7%	-27.0%	14.5%	-14.6%	19.9%	-3.8%

(4) 学校種別の構成比（平成 29 年対平成 30 年）

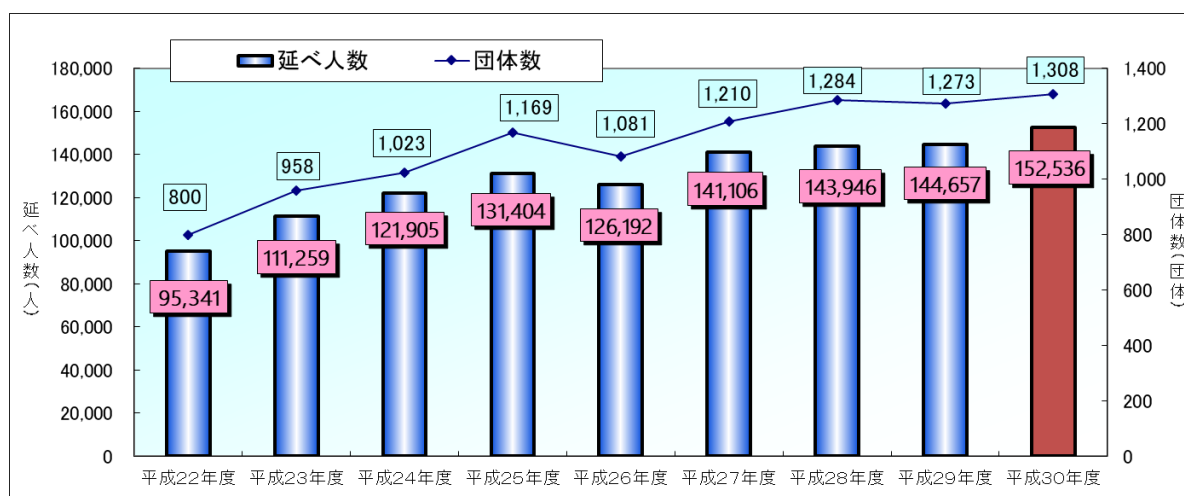


5 スポーツ合宿の受入状況

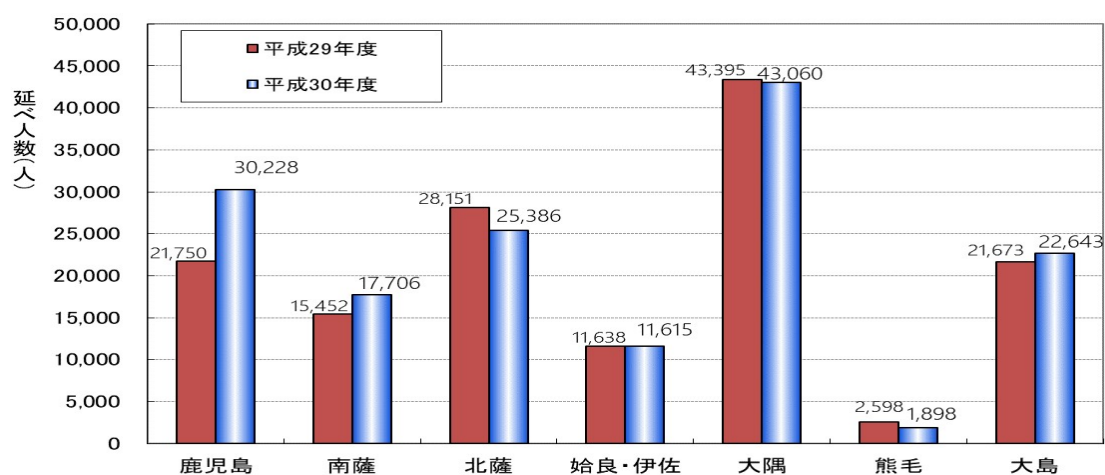
出典：「平成30年度スポーツキャンプ・合宿状況調査」

(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況（推移）

	平成30年度	平成29年度	対前年度比	
			増減数	増減率
延べ人数(人)	152,536	144,657	7,879	5.4%
実人数(人)	33,446	32,877	569	1.7%
団体数(団体)	1,308	1,273	35	2.7%



(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況

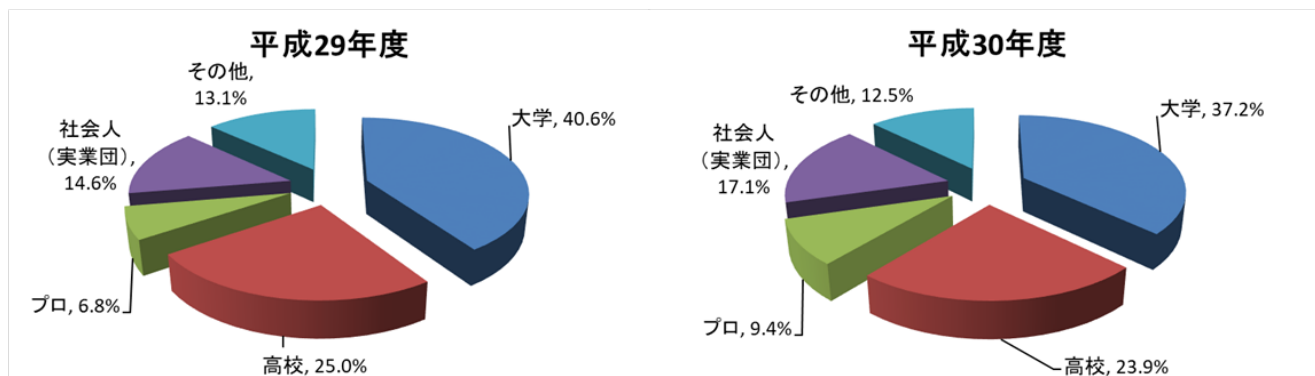


	鹿児島	南薩	北薩	姶良・伊佐	大隅	熊毛	大島
平成30年度	30,228	17,706	25,386	11,615	43,060	1,898	22,643
平成29年度	21,750	15,452	28,151	11,638	43,395	2,598	21,673
前年度比(増減率)	39.0%	14.6%	-9.8%	-0.2%	-0.8%	-26.9%	4.5%

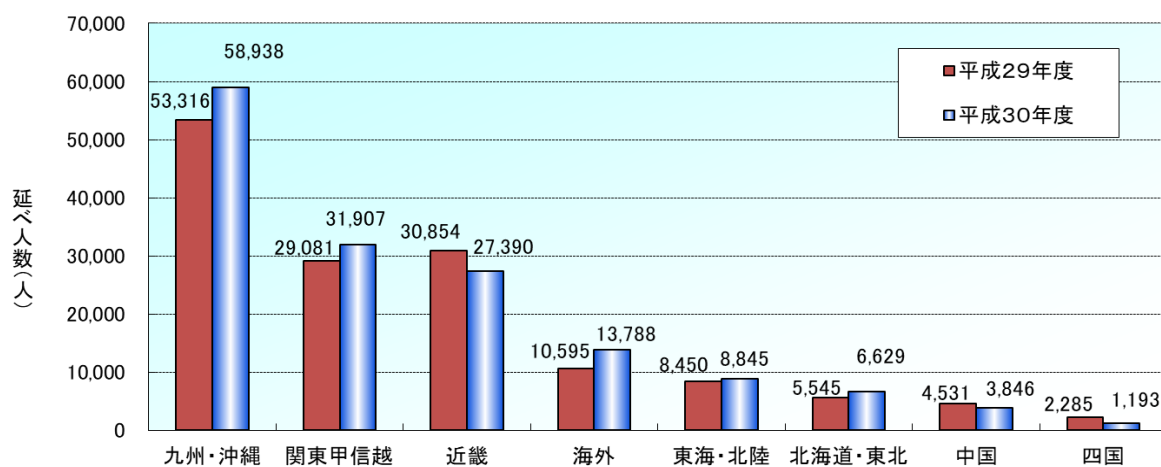
単位：人

5 スポーツ合宿の受入状況

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況（構成比）



(4) 発地別の状況

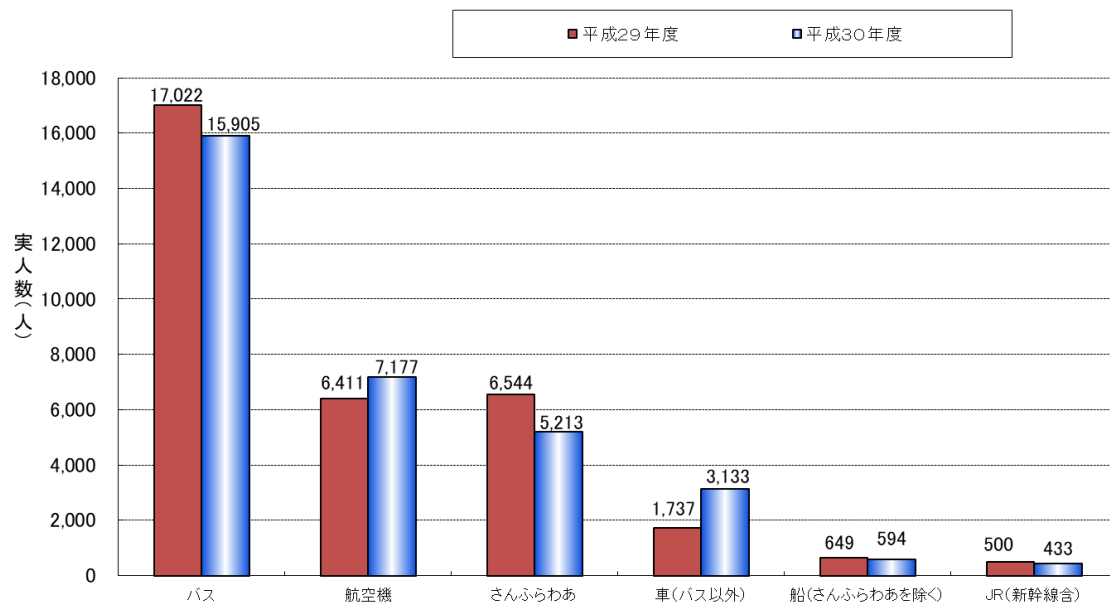


	九州・沖縄	関東甲信越	近畿	海外	東海・北陸	北海道・東北	中国	四国
平成30年度	58,938	31,907	27,390	13,788	8,845	6,629	3,846	1,193
平成29年度	53,316	29,081	30,854	10,595	8,450	5,545	4,531	2,285
前年度比(増減率)	10.5%	9.7%	-11.2%	30.1%	4.7%	19.5%	-15.1%	-47.8%

単位: 人

5 スポーツ合宿の受入状況

(5) 交通手段の状況

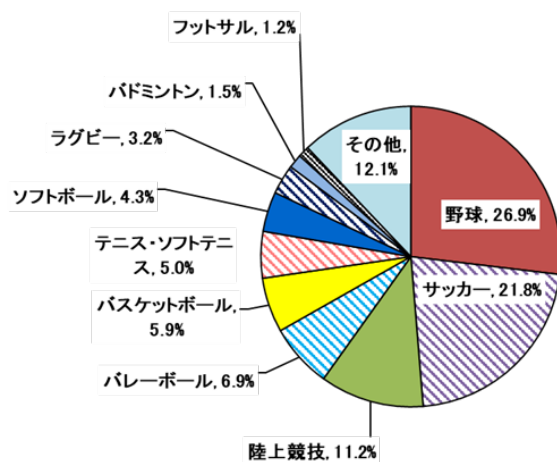


	バス	航空機	さんふらわあ	車(バス以外)	船(さんふらわあを除く)	JR(新幹線含)	不明
平成30年度	15,905	7,177	5,213	3,133	594	433	991
平成29年度	17,022	6,411	6,544	1,737	649	500	14
前年度比(増減率)	-6.6%	11.9%	-20.3%	80.4%	-8.5%	-13.4%	6978.6%

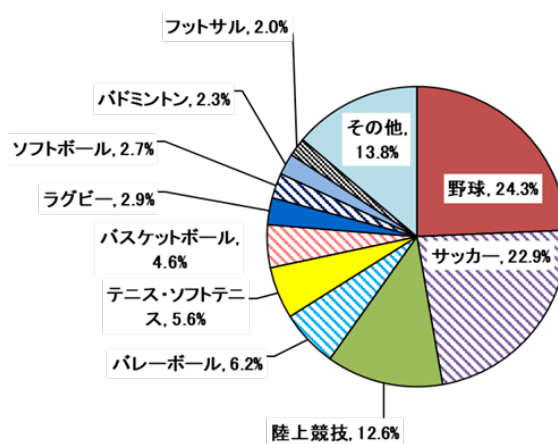
単位: 人

(6) 競技種目の状況

平成29年度



平成30年度



6 コンベンションの開催状況

【出典：県独自調査】

平成30年の県内のコンベンションの開催状況は、

- ・開催件数 263件（前年比35.6%増）
- ・参加者 130,264人（前年比5.0%増）

となった。

全国大会の参加者は減少したものの、国際大会、その他については増加し、全体としては件数、参加者ともに増加した。

単位：件・人

	平成30年		平成29年		前年比(増減率)	
	件数	参加者	件数	参加者	件数	参加者
国際大会	13	19,633	5	797	160.0%	2363.4%
全国大会	99	49,368	83	66,959	19.3%	-26.3%
その他	151	61,263	106	56,339	42.5%	8.7%
合計	263	130,264	194	124,095	35.6%	5.0%

※開催状況については、各市町村及び鹿児島観光コンベンション協会へ照会を行った回答を、県観光課で取りまとめた。

※コンベンションの計上については、会議・研修・スポーツ大会等を対象として計上。県内参加者のみの規模のコンベンションは含まない。

7 国際観光船受入状況

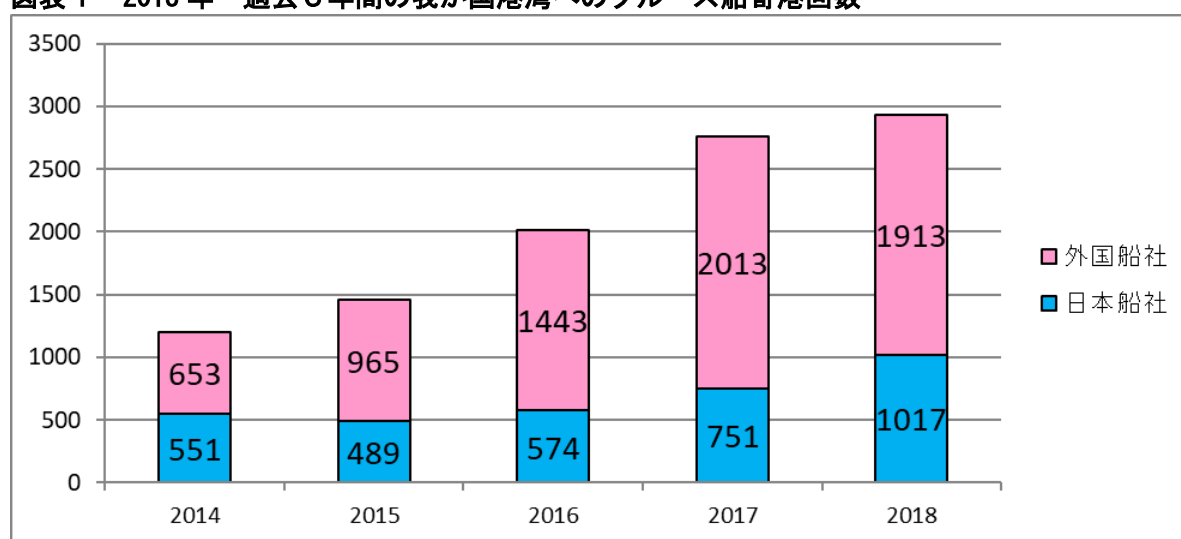
(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況

【出典：国土交通省「2018年の我が国のクルーズ等の動向（調査結果）」】

平成30年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数は以下のとおり。

- ・外国船社のクルーズ船 1,913回
- ・日本船社のクルーズ船 1,017回
- 合計 2,930回（前年比6.0%増）

図表1 2018年 過去5年間の我が国港湾へのクルーズ船寄港回数



図表2 2018年 港湾別のクルーズ船寄港回数（上位10港）

全体			外国船社			国内船社		
順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数
1	博多	279	1	博多	263	1	ペリスタマリーナ（広島県）	122
2	那覇	243	2	那覇	236	2	横浜	98
3	長崎	220	3	長崎	215	3	神戸	70
4	横浜	168	4	平良	142	4	宮島	62
5	平良	143	5	石垣	105	5	福山	48
6	神戸	136	6	佐世保	105	6	大三島	37
7	ペリスタマリーナ（広島県）	122	7	鹿児島	96	7	倉橋漁港	29
8	佐世保	108	8	横浜	70	8	名古屋	29
9	石垣	107	9	神戸	66	9	金風呂漁港	25
10	鹿児島	100	10	広島	44	10	直島	24

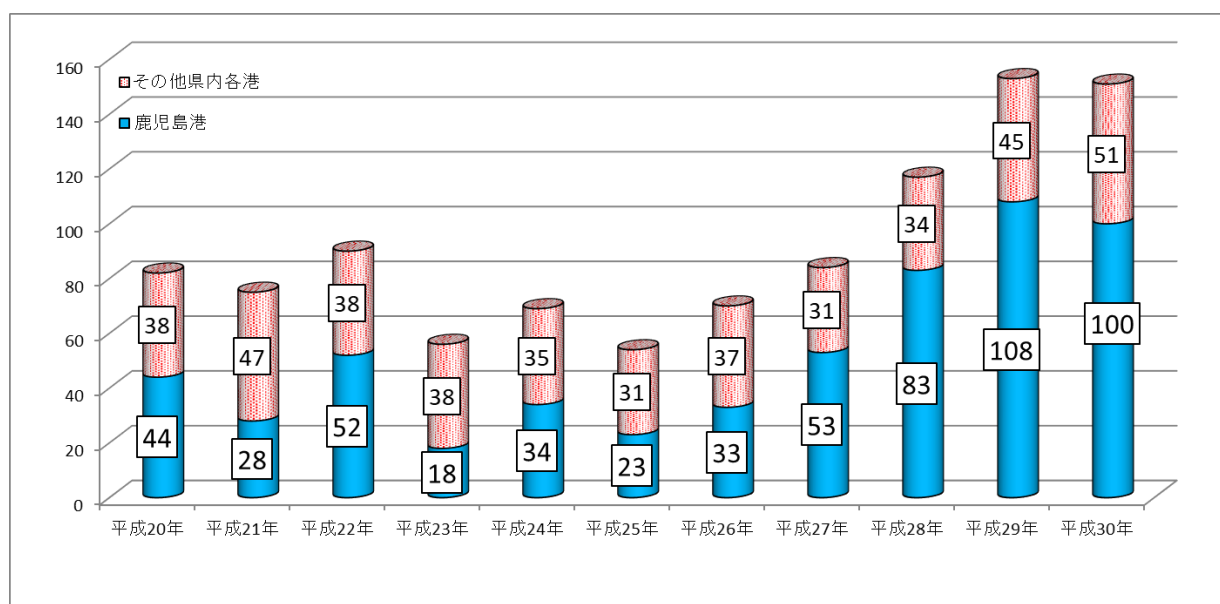
図表3 2014～2018年 外国船社のクルーズ船寄港回数（上位5港）

	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
順位	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	99	博多	245	博多	312	博多	309	博多	263
2	長崎	70	長崎	128	長崎	190	長崎	262	那覇	236
3	石垣	69	那覇	105	那覇	183	那覇	217	長崎	215
4	那覇	68	石垣	79	石垣（石垣島）	91	石垣	129	平良	142
5	横浜	48	鹿児島	51	平良（宮古島）	84	平良	129	石垣	105

7 国際観光船受入状況

(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：県港湾空港課調べ】

県内各港(計)		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
		82	75	90	56	69	54	70	84	117	153	151
内 訳	鹿児島港	44	28	52	18	34	23	33	53	83	108	100
	志布志港		1					1				
	指宿港				1		1			1		
	西之表港	2	4	2	2	1		2	2	5	3	2
	宮之浦港	21	26	25	23	15	17	16	19	18	24	24
	名瀬港	5	11	4	4	9	7	13	6	6	13	21
	その他	10	5	7	8	10	6	5	4	4	5	4



平成 30 年 鹿児島県の観光の動向

～鹿児島県観光統計～

発 行 令和元年 11 月

編集・発行 鹿児島県 P R ・観光戦略部観光課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号

TEL : 099-286-2994

FAX : 099-286-5580

E-mail : k-kokunai@pref.kagoshima.lg.jp

U R L :

[http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/
kanko-tokusan/kanko/kankotokei/](http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/)